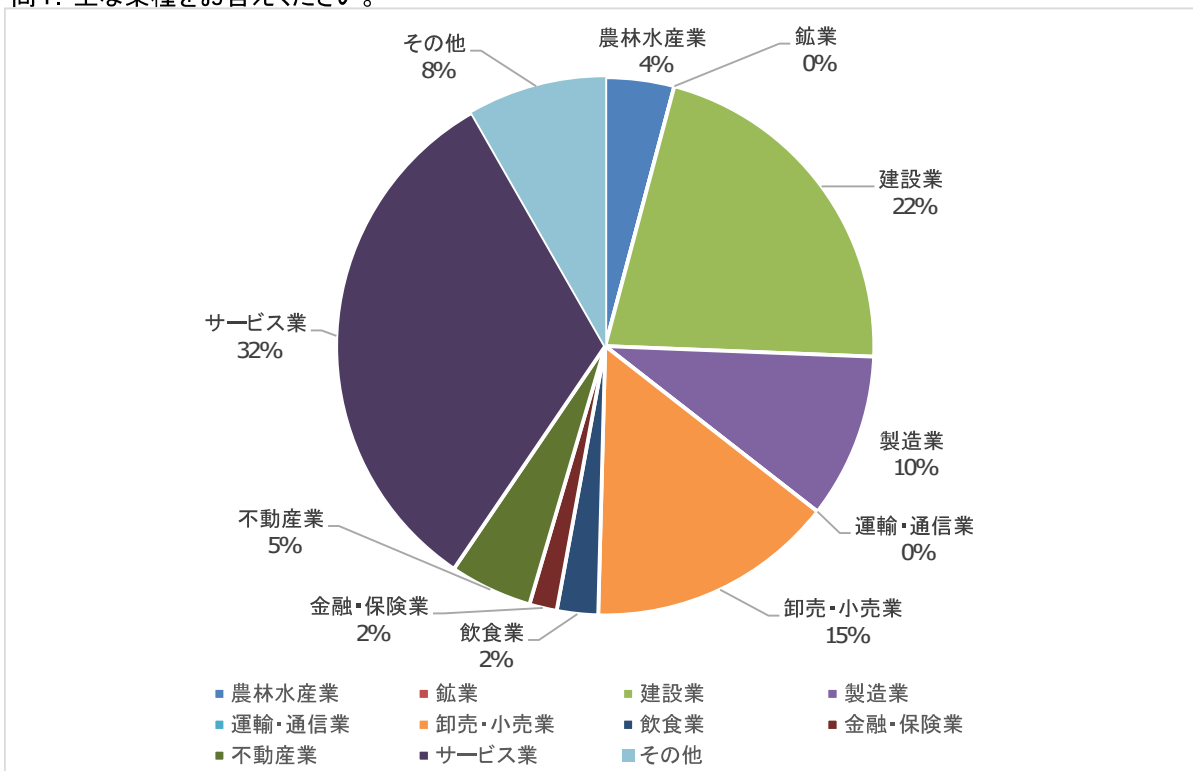


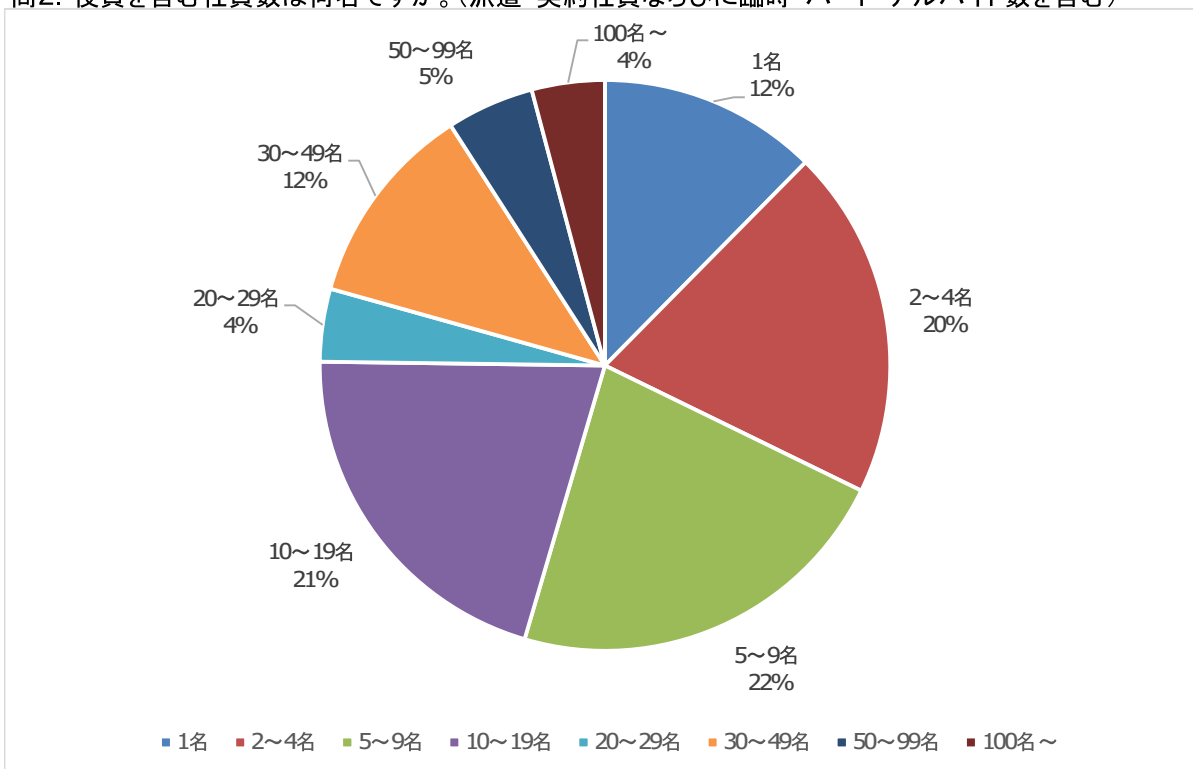
(一社)香川県中小企業同友会 激変する環境変化に関する緊急アンケート調査2025 調査結果

- 1.調査期間 2025年10月1日～10月13日
- 2.調査方法 e.doyu(グループウェアによるアンケート)
- 3.調査対象 (一社)香川県中小企業家同友会会員 1588 名(10月1日現在)
- 4.回答数(%) 121名(7.62 %)

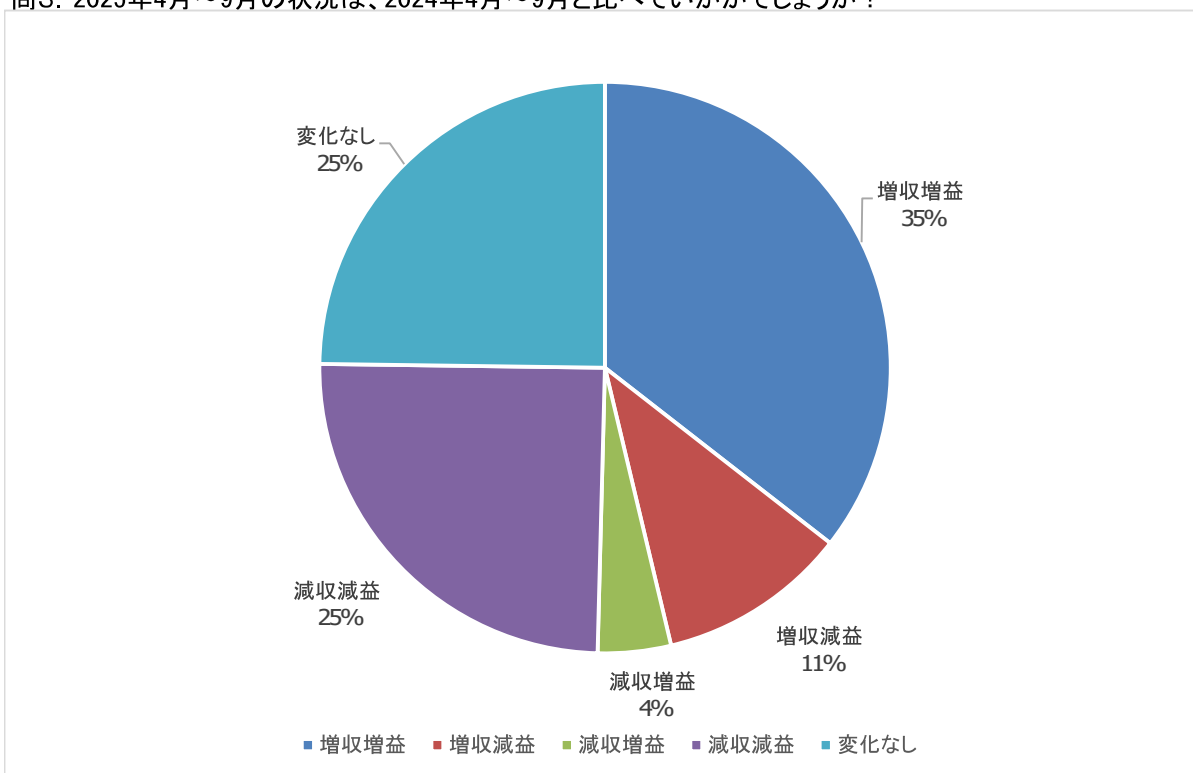
問1. 主な業種をお答えください。



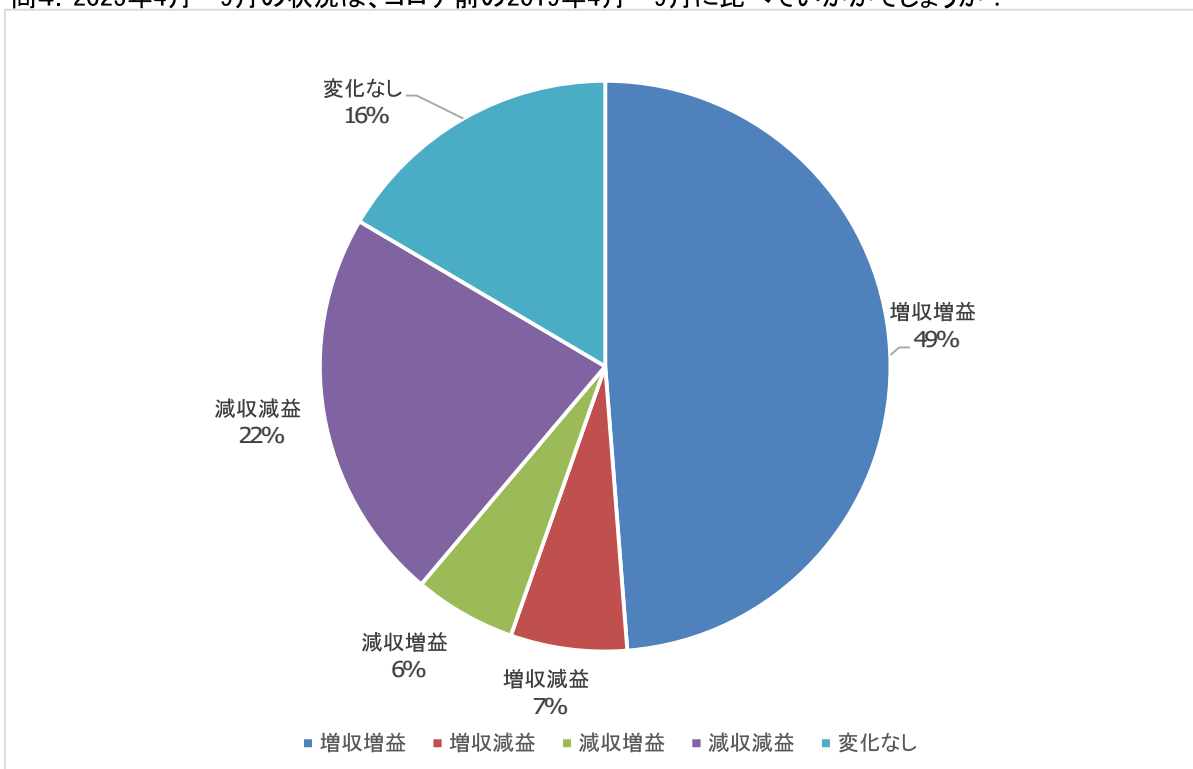
問2. 役員を含む社員数は何名ですか。(派遣・契約社員ならびに臨時・パート・アルバイト数を含む)



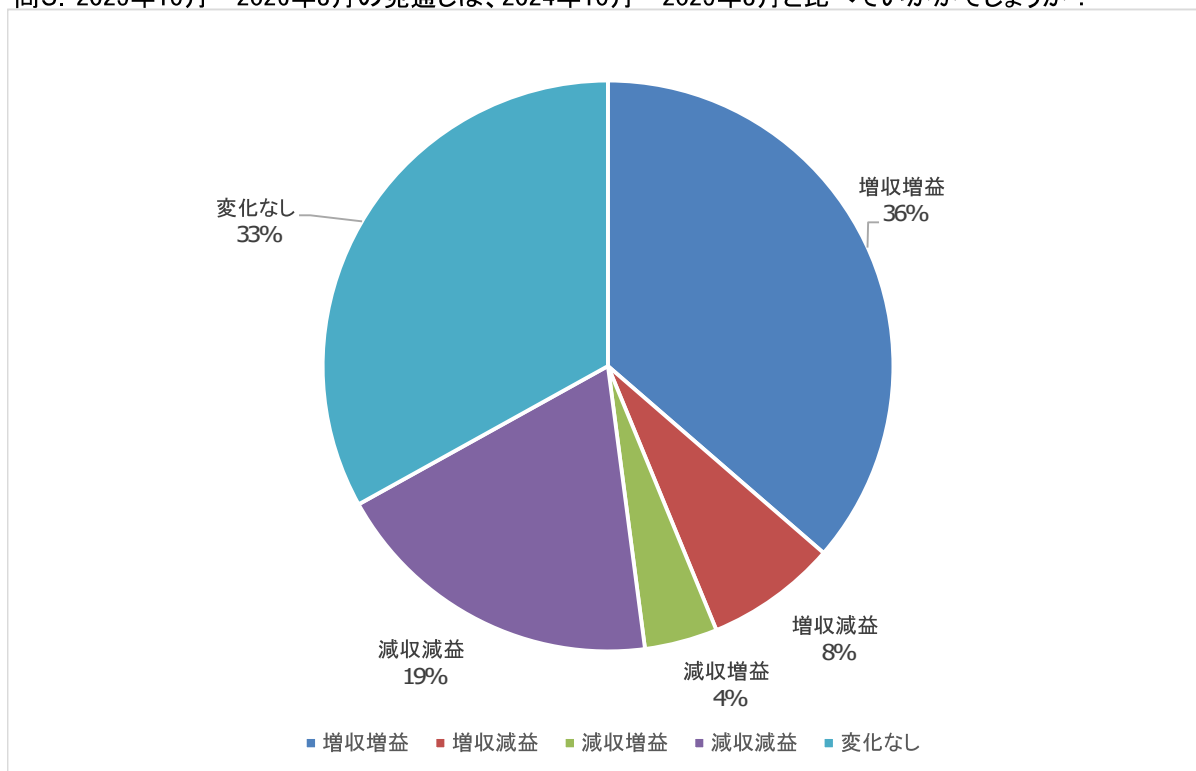
問3. 2025年4月～9月の状況は、2024年4月～9月と比べていかがでしょうか？



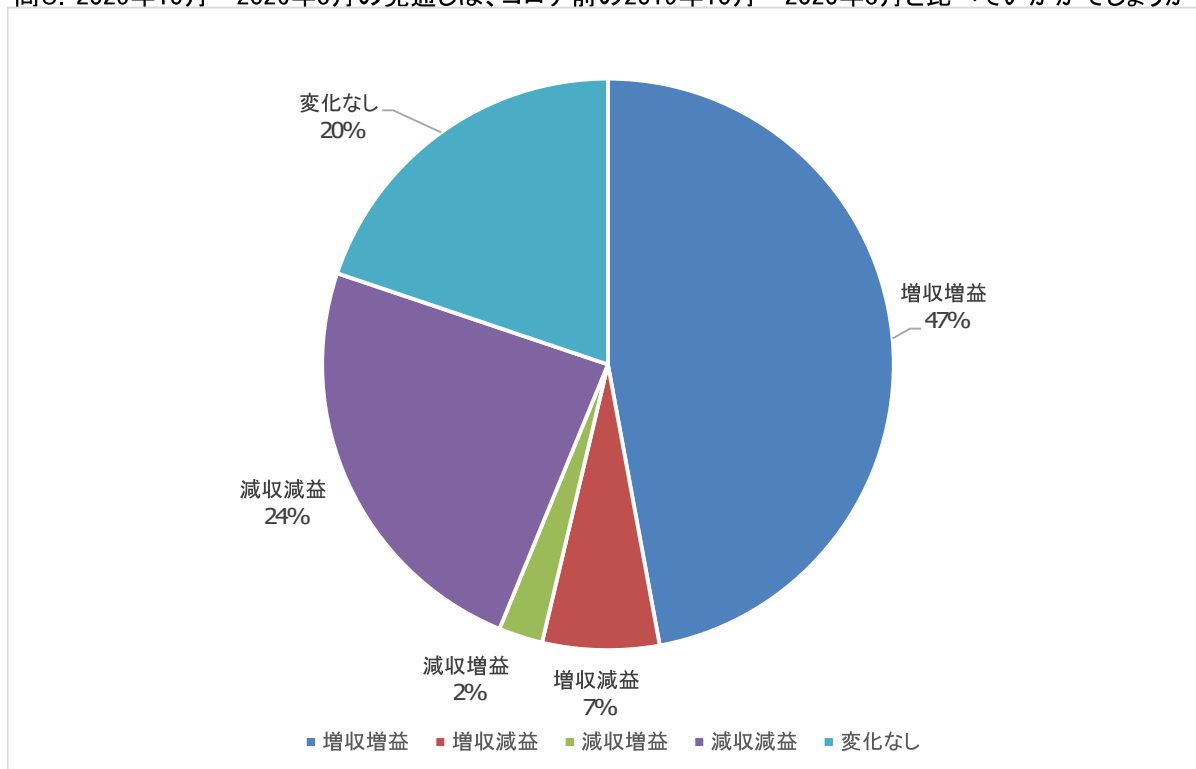
問4. 2025年4月～9月の状況は、コロナ前の2019年4月～9月に比べていかがでしょうか？



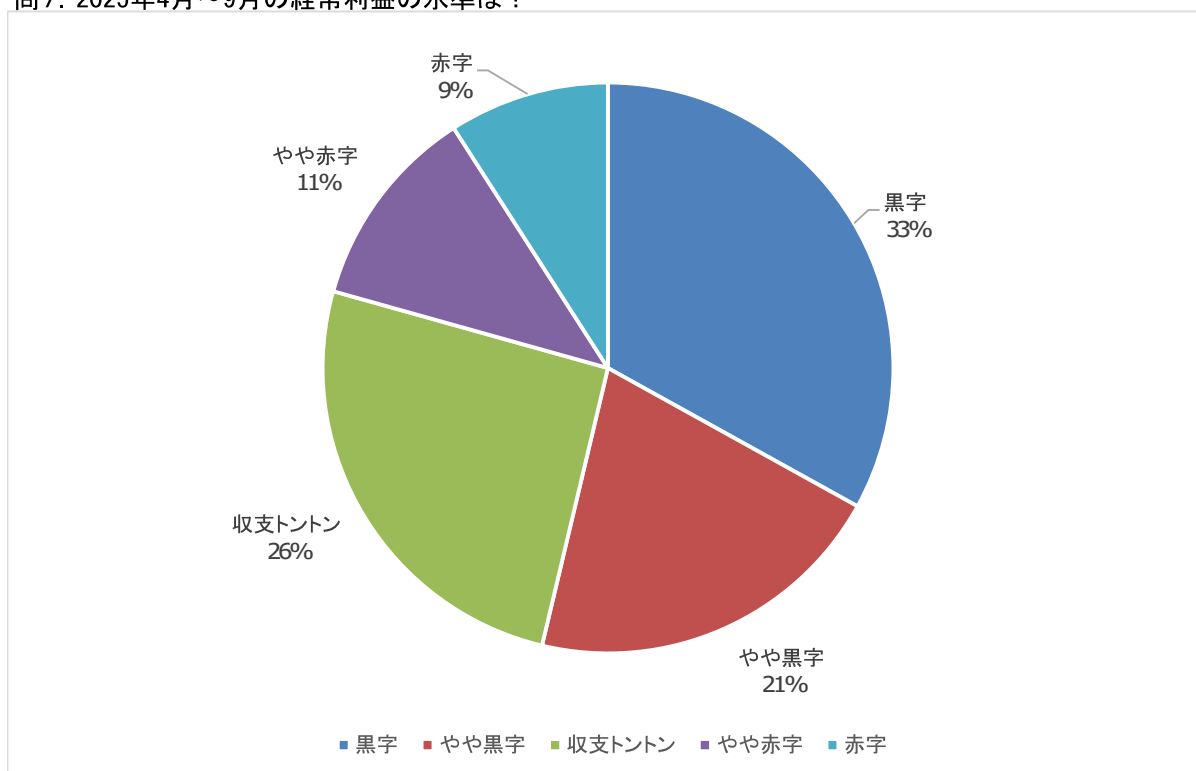
問5. 2025年10月～2026年3月の見通しは、2024年10月～2025年3月と比べていかがでしょうか？



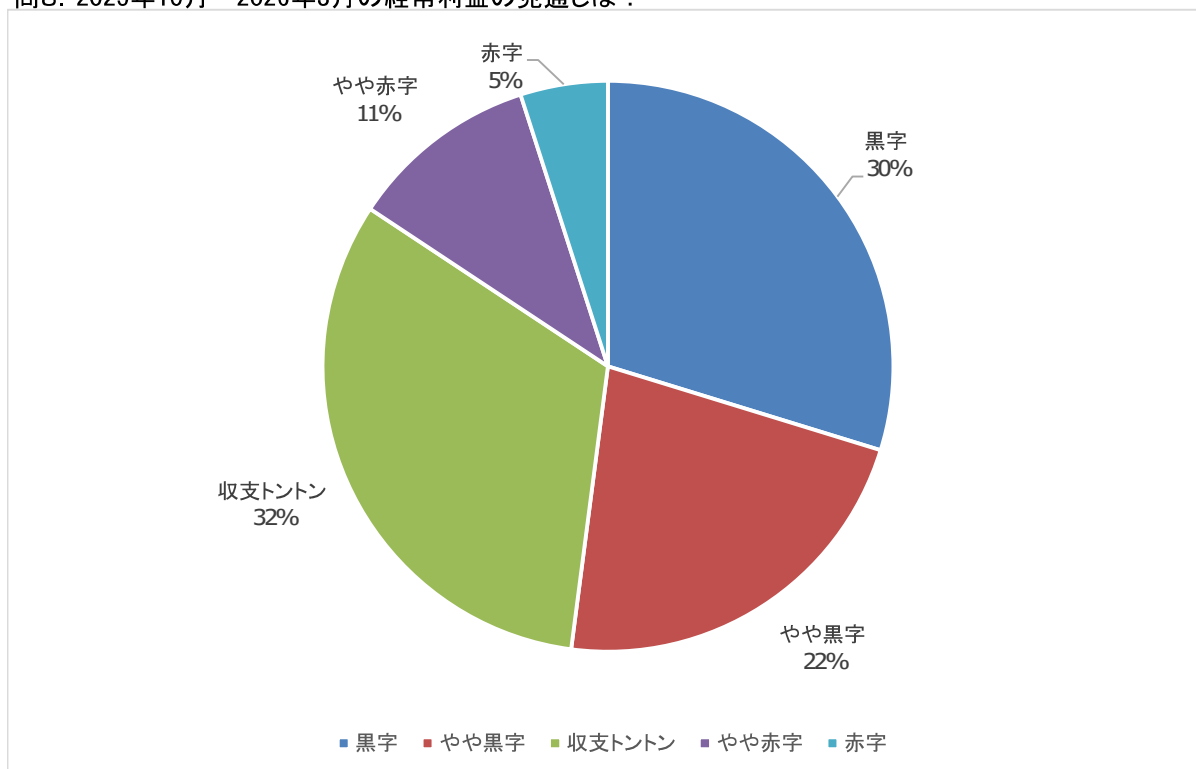
問6. 2025年10月～2026年3月の見通しは、コロナ前の2019年10月～2020年3月と比べていかがでしょうか？



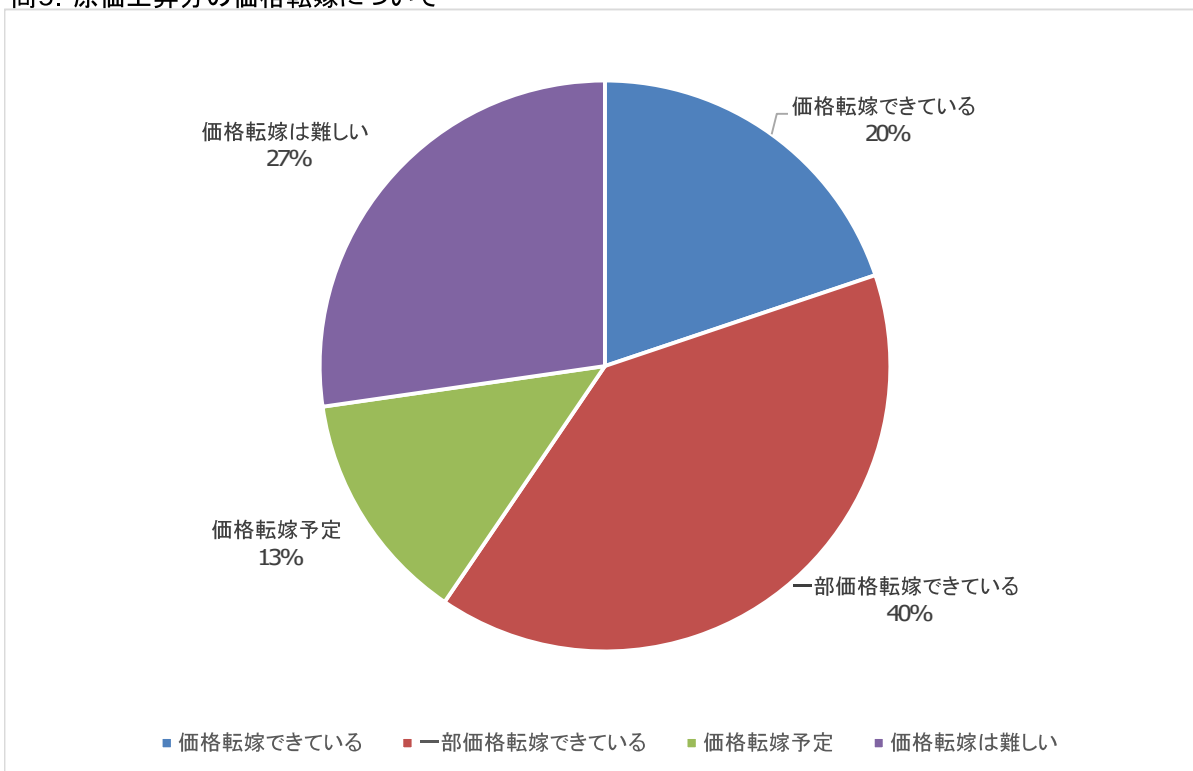
問7. 2025年4月～9月の経常利益の水準は？



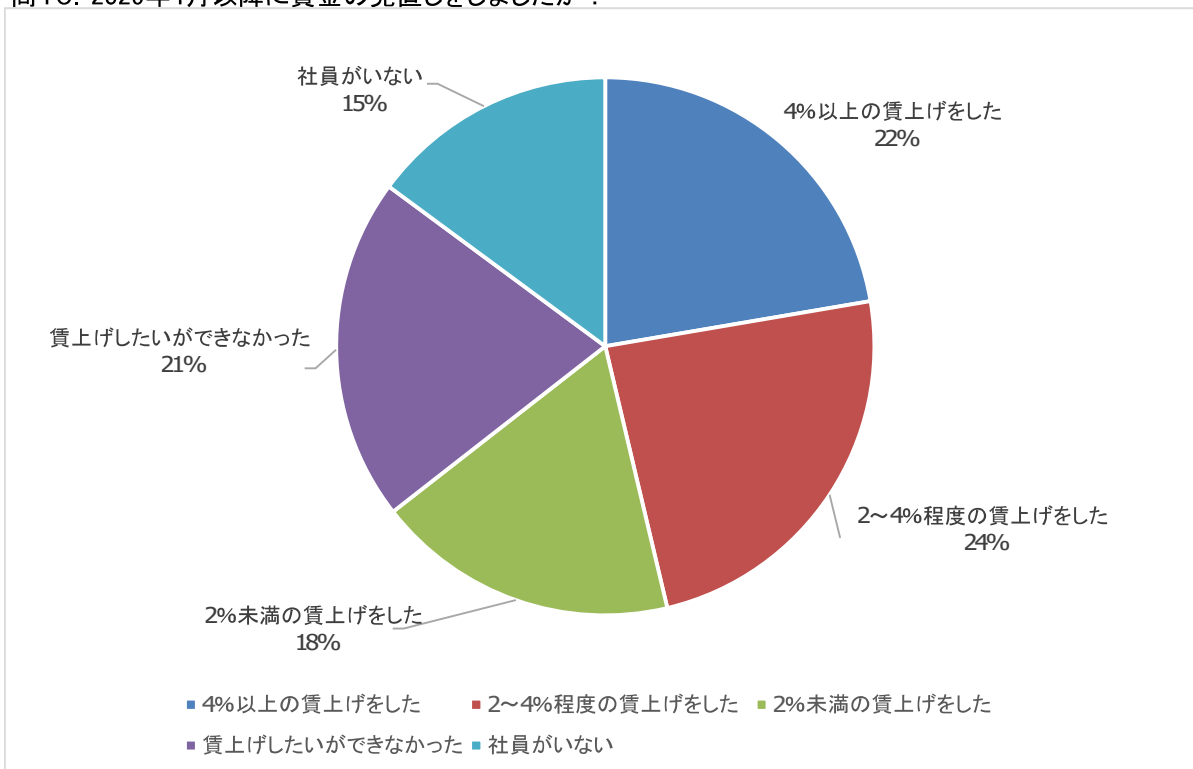
問8. 2025年10月～2026年3月の経常利益の見通しは？



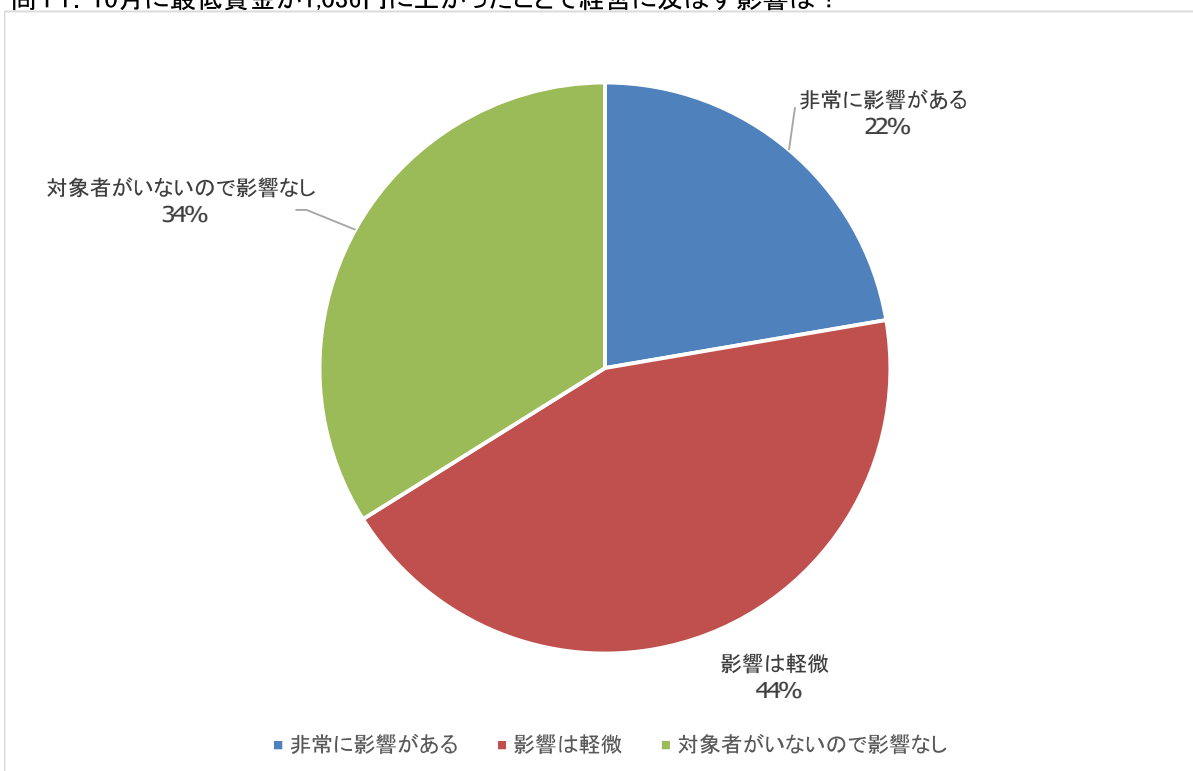
問9. 原価上昇分の価格転嫁について



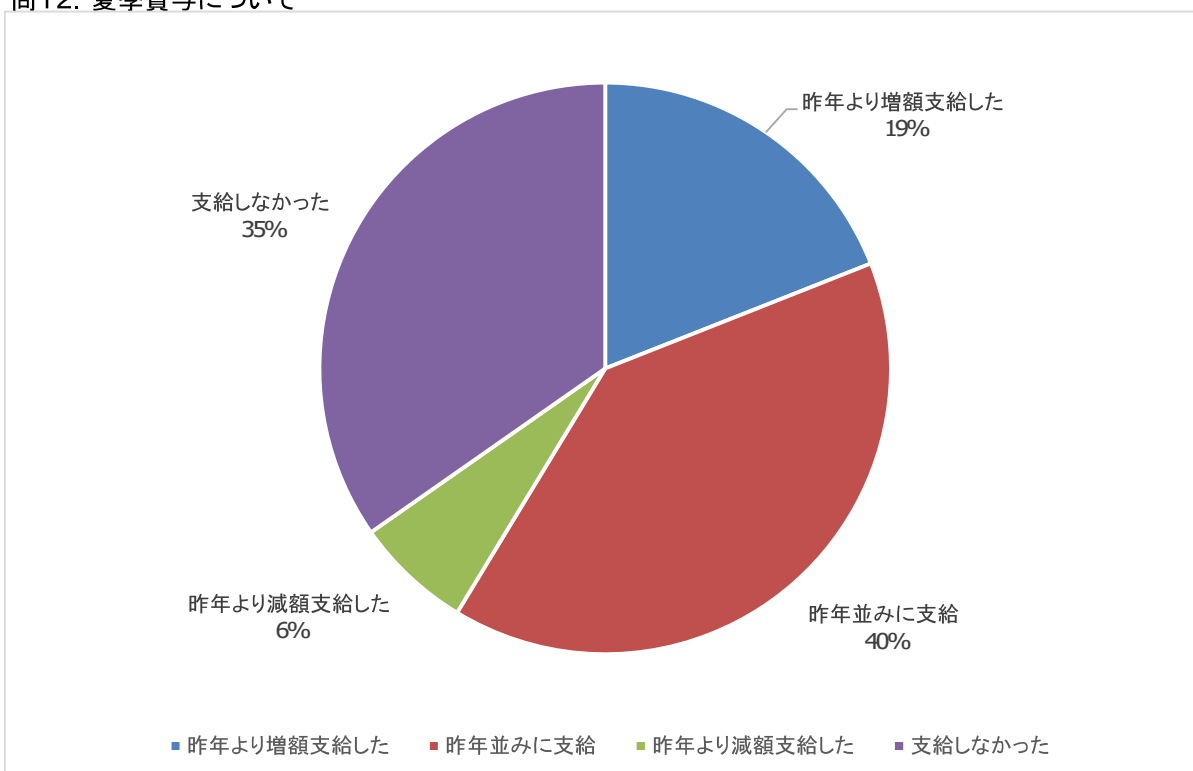
問10. 2025年4月以降に賃金の見直しをしましたか？



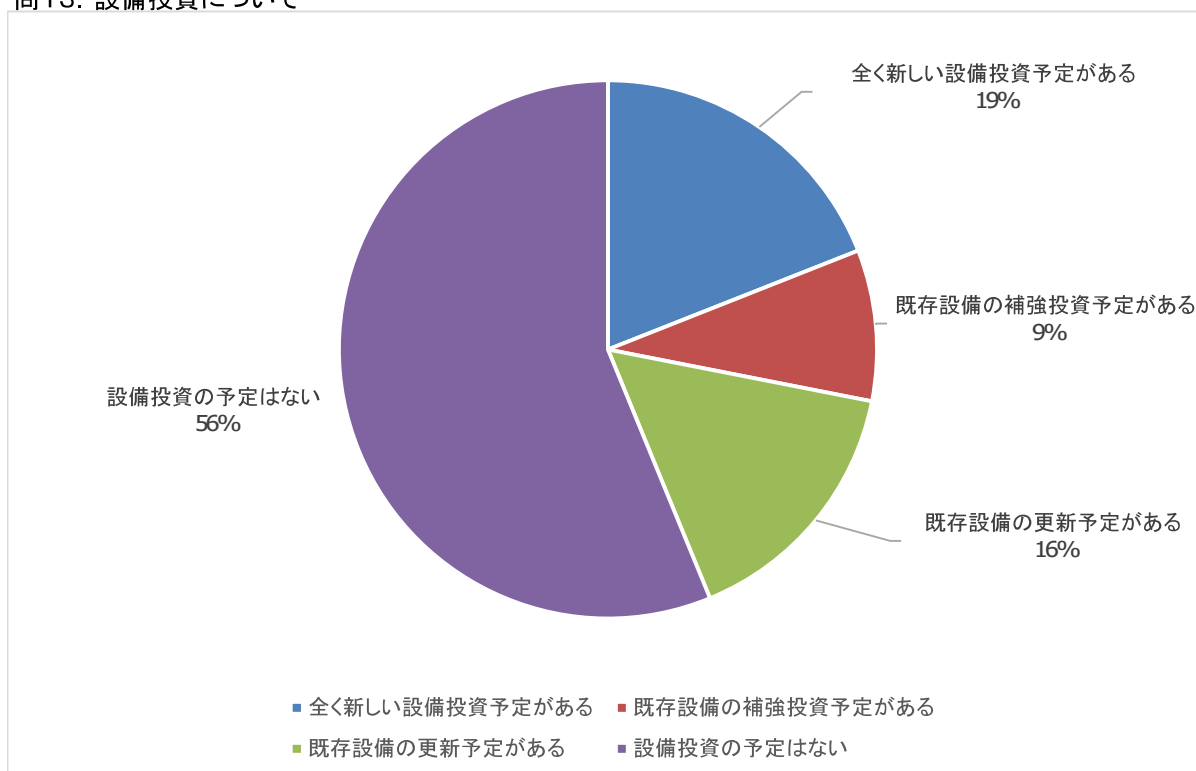
問11. 10月に最低賃金が1,036円に上がったことで経営に及ぼす影響は？



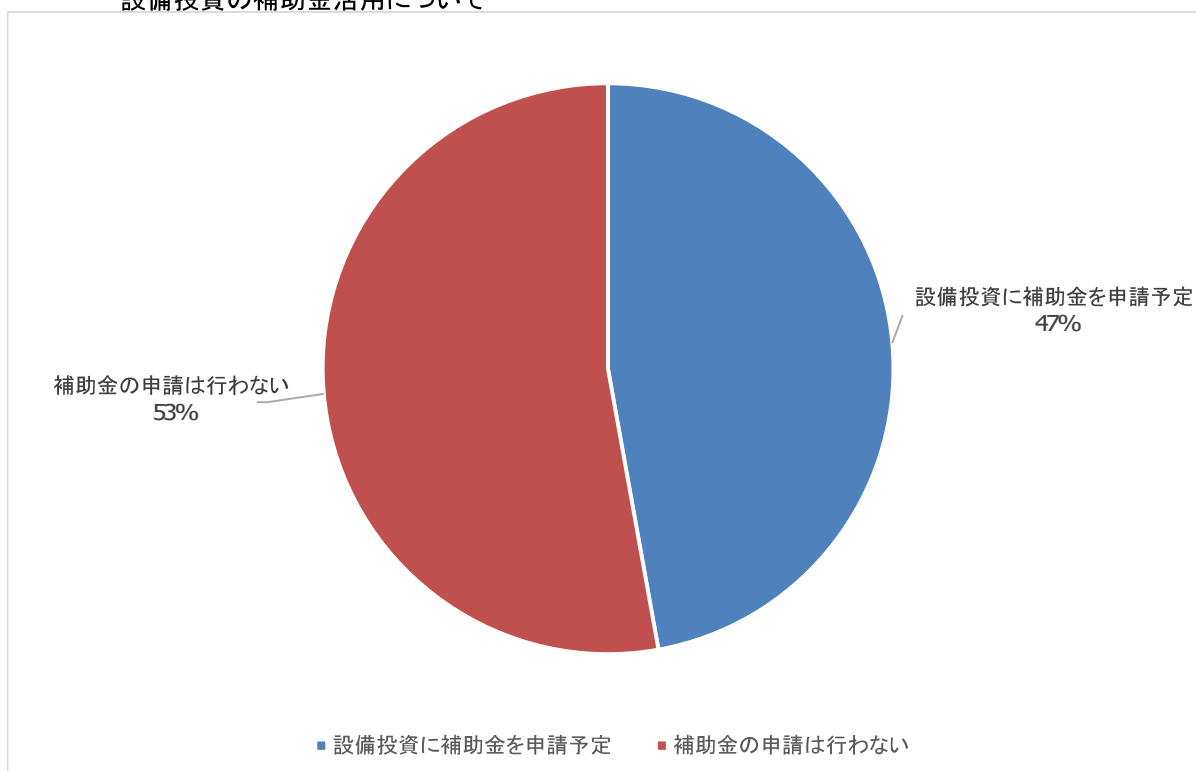
問12. 夏季賞与について



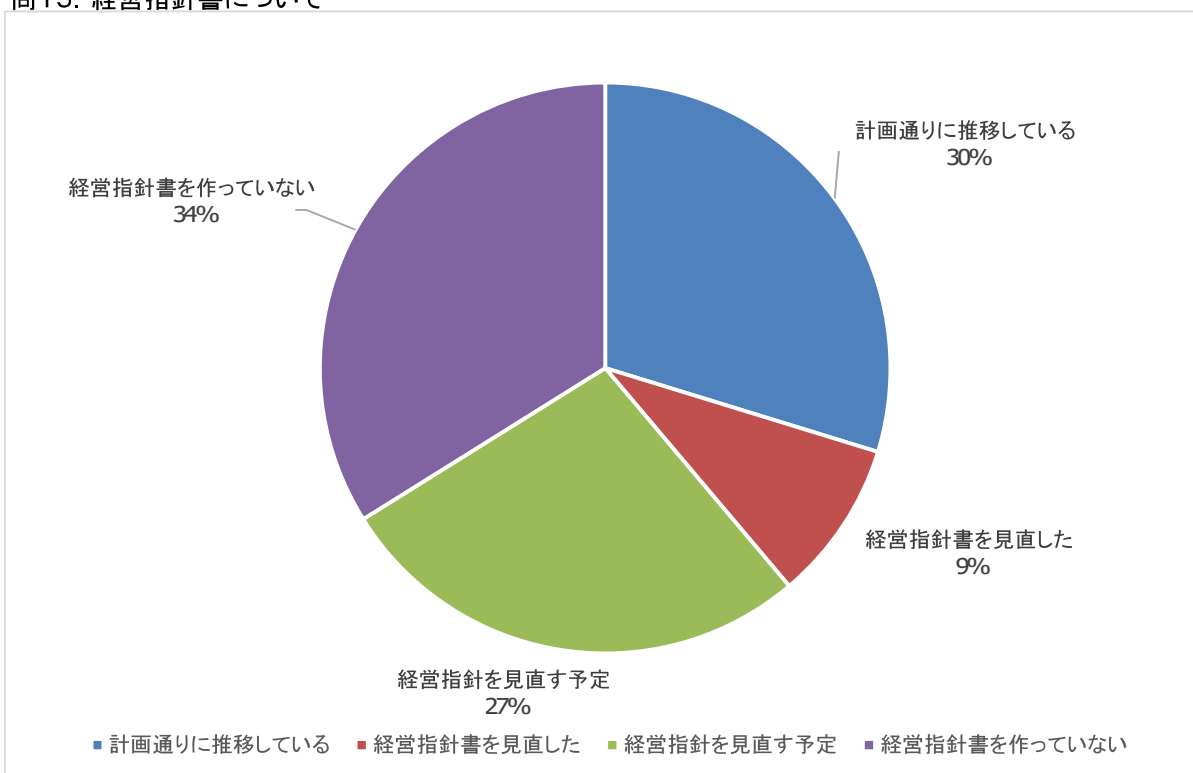
問13. 設備投資について



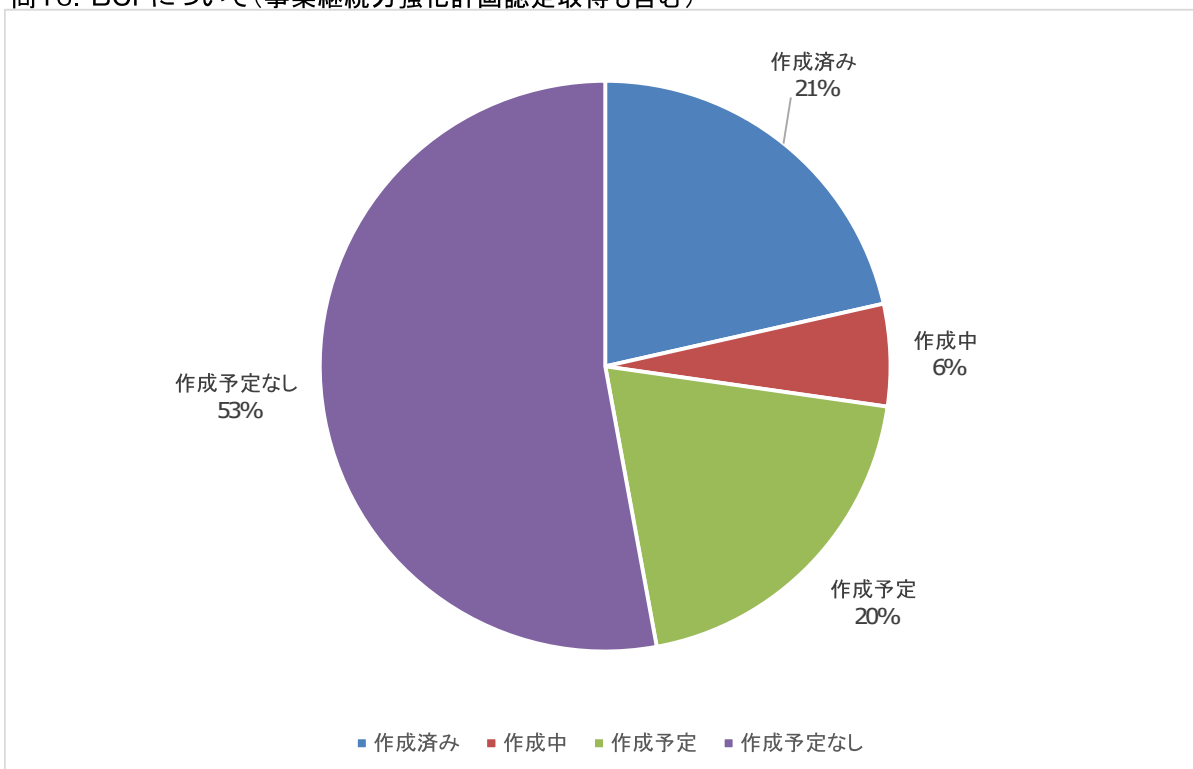
問14. (問13で設備投資の予定がある方のみお答えください)
設備投資の補助金活用について



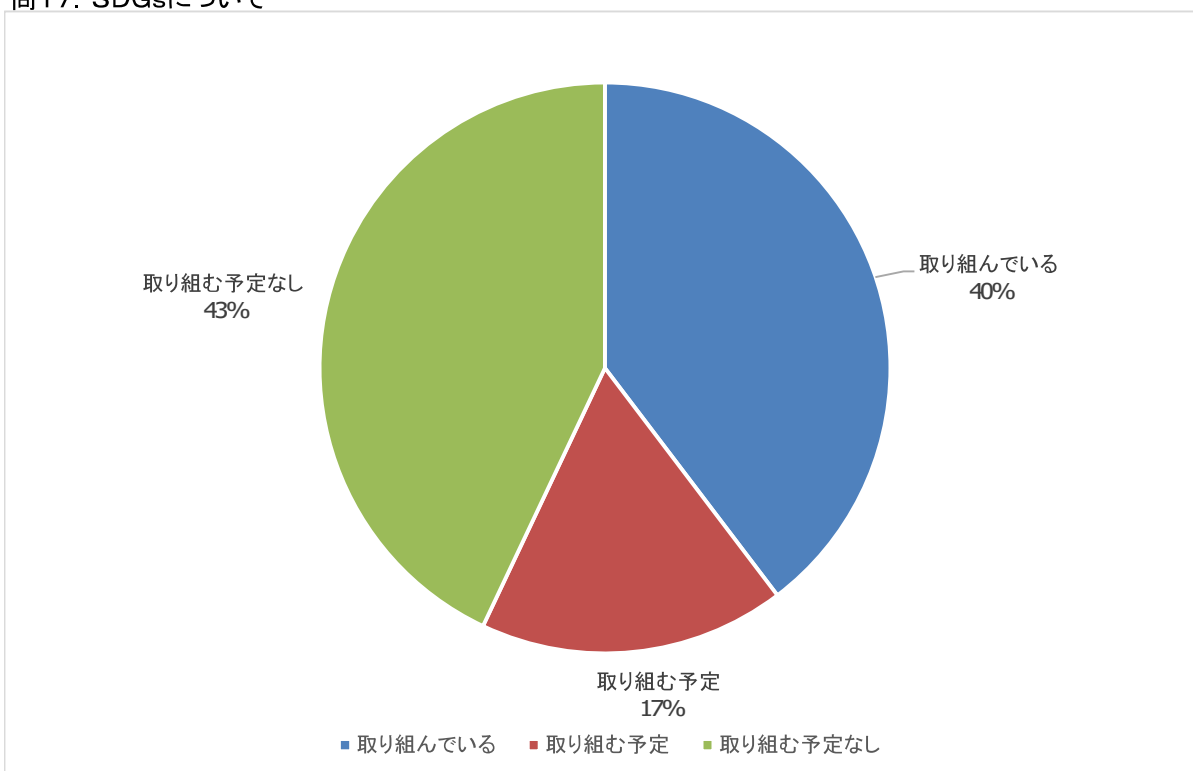
問15. 経営指針書について



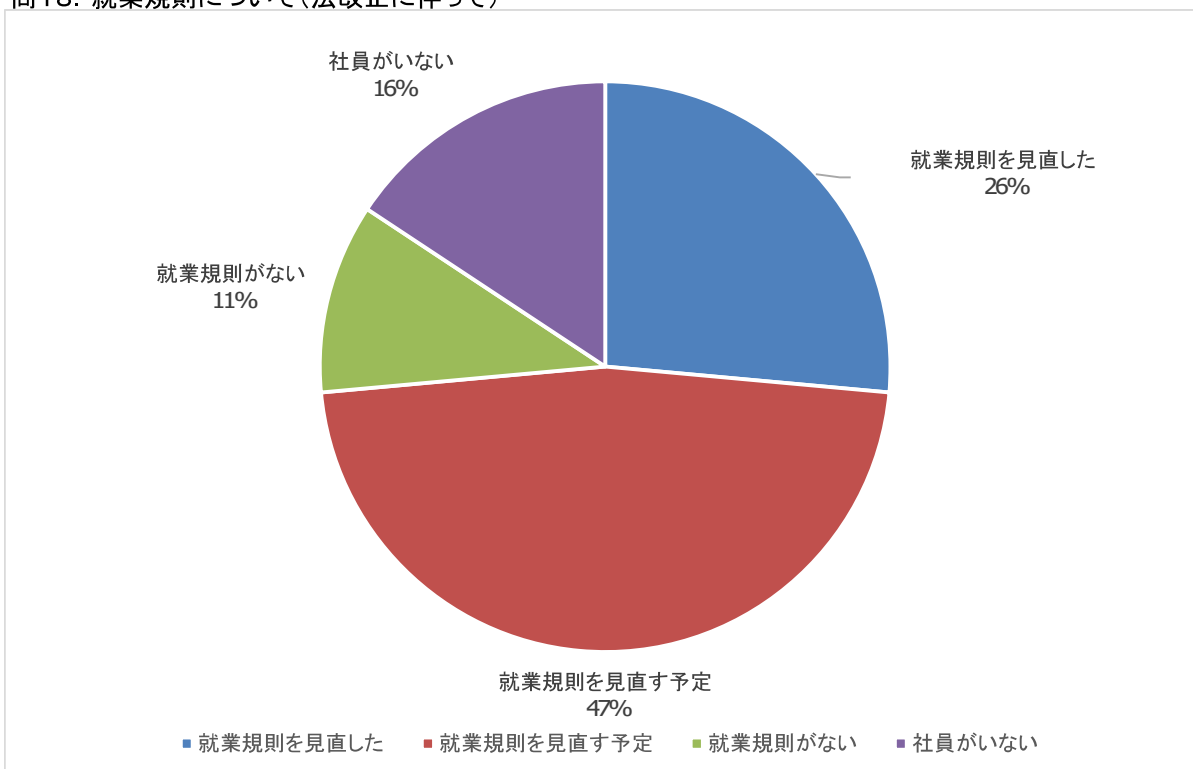
問16. BCPについて(事業継続力強化計画認定取得も含む)



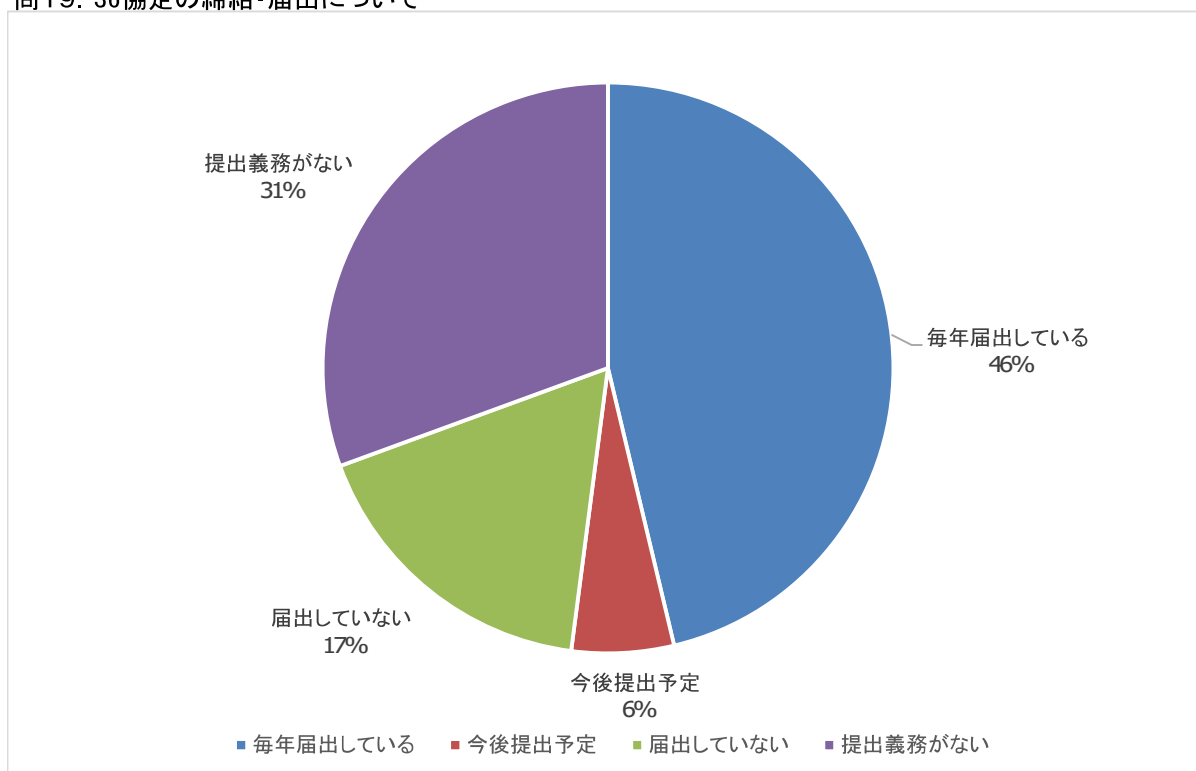
問17. SDGsについて



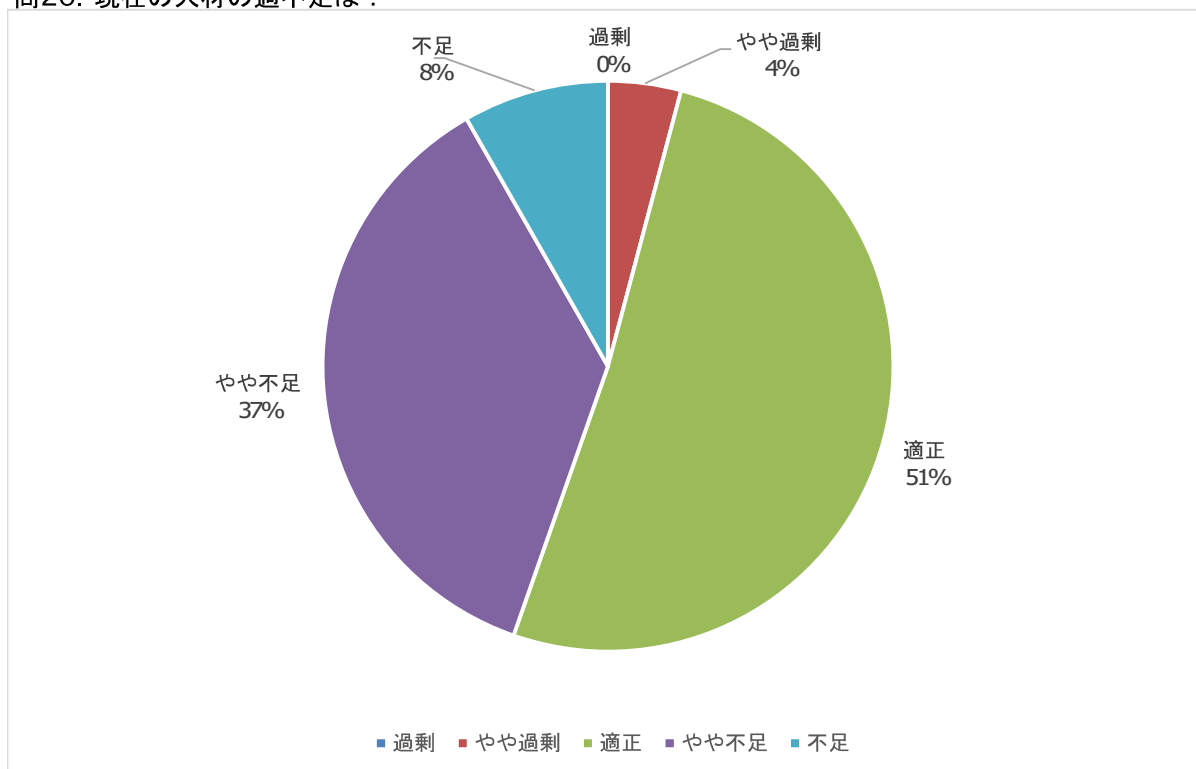
問18. 就業規則について(法改正に伴って)



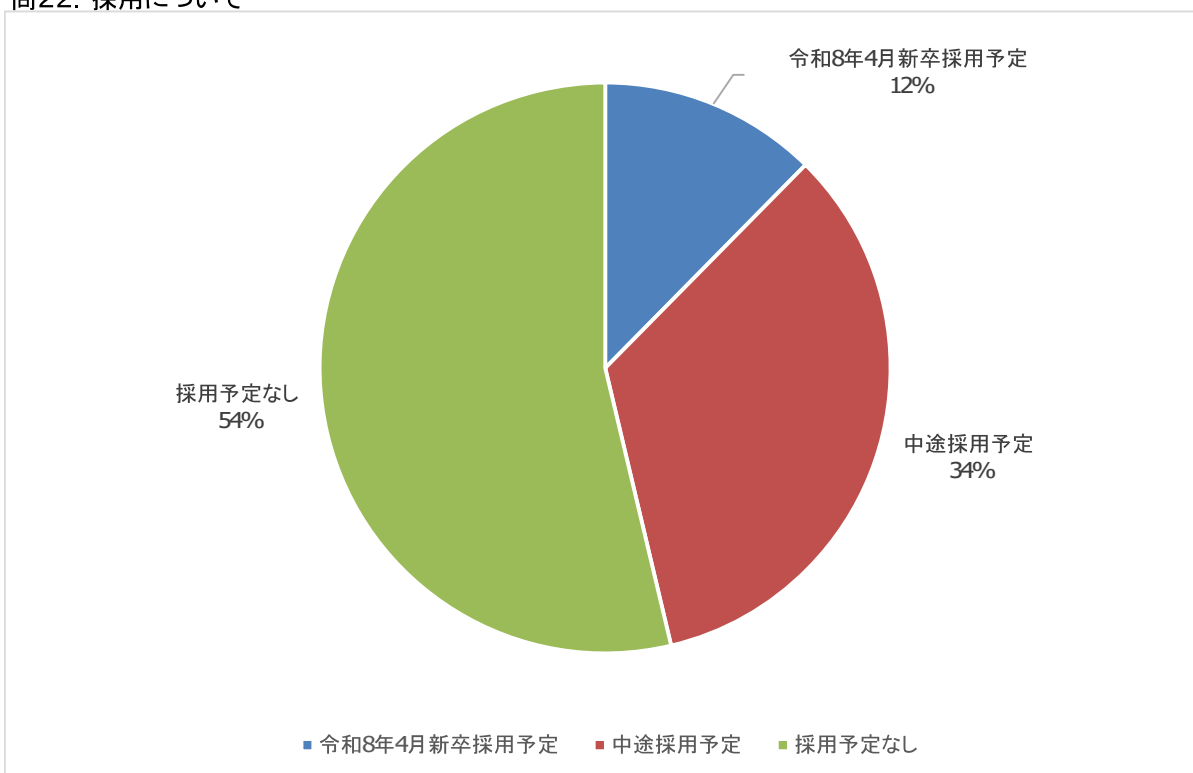
問19. 36協定の締結・届出について



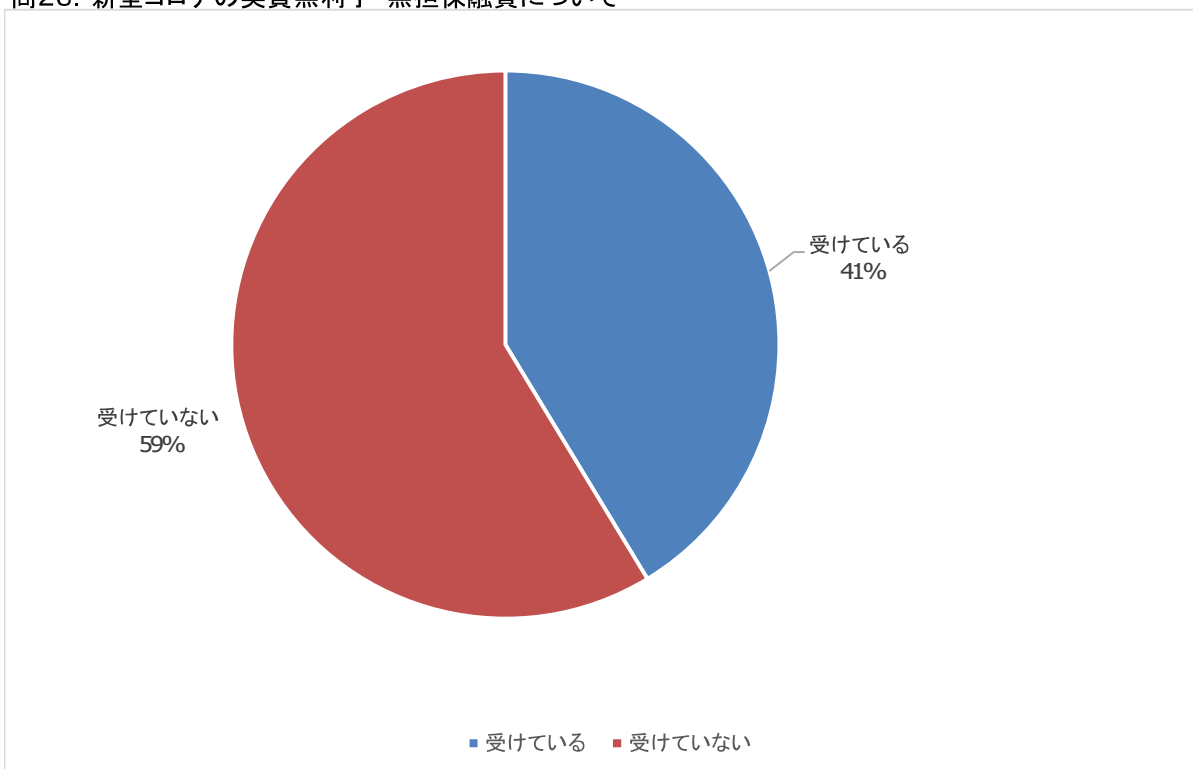
問20. 現在の人材の過不足は？



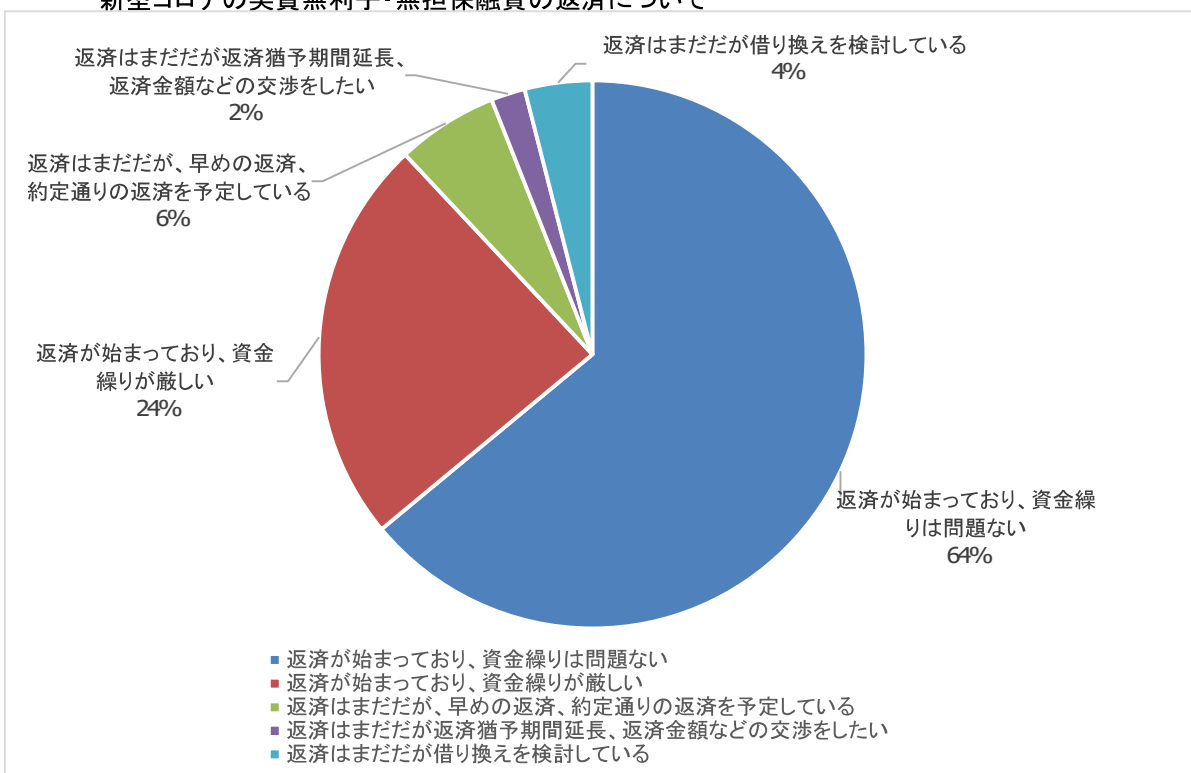
問22. 採用について



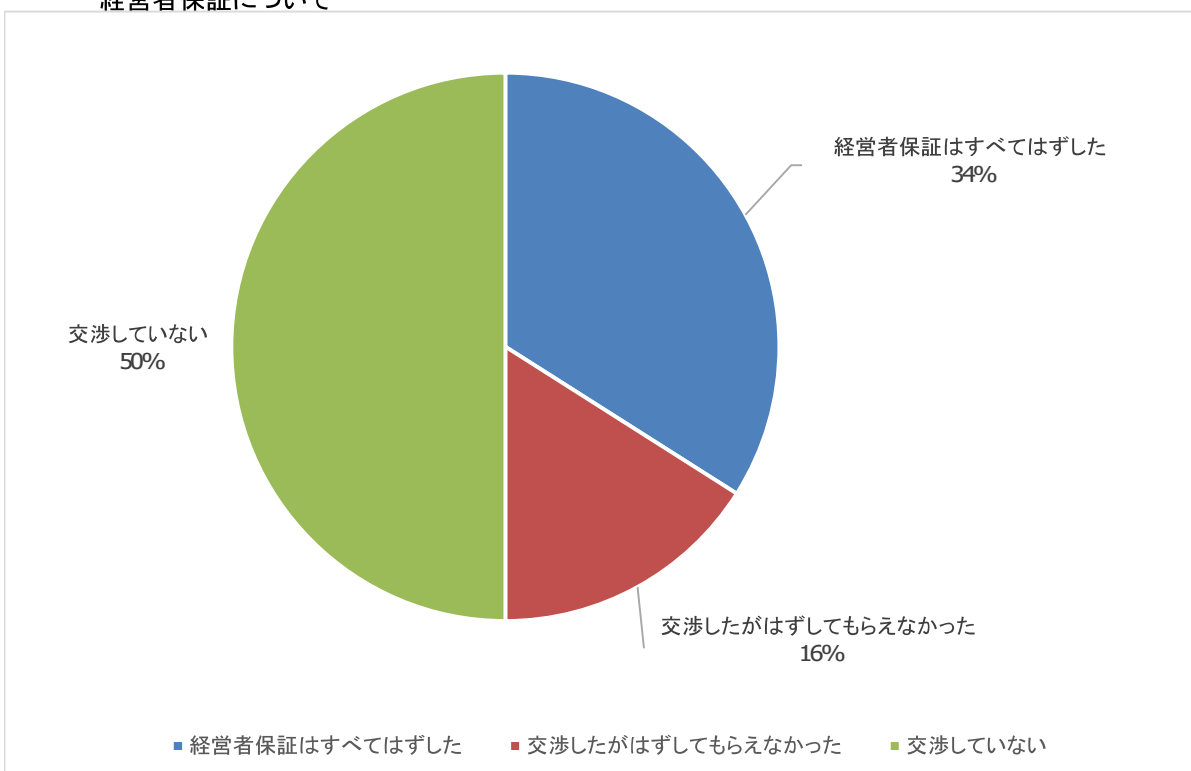
問23. 新型コロナの実質無利子・無担保融資について



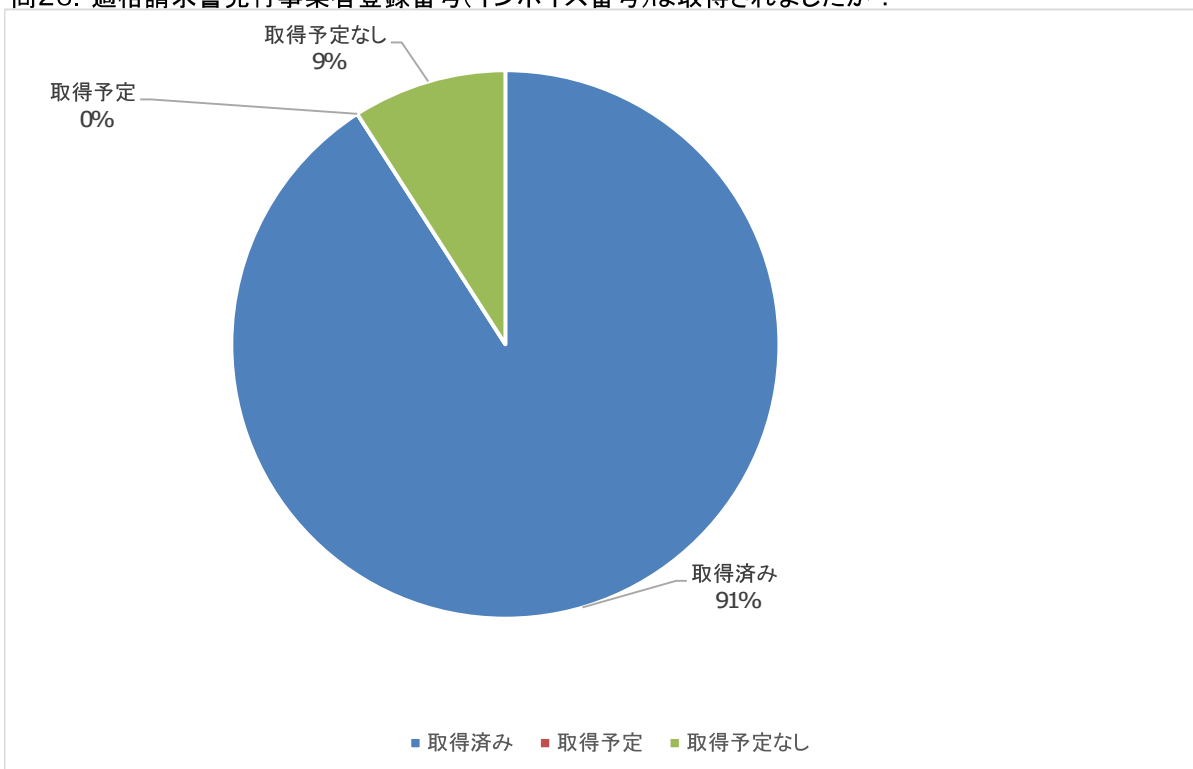
問24. (問23で融資を受けている方のみお答えください)
 新型コロナの実質無利子・無担保融資の返済について



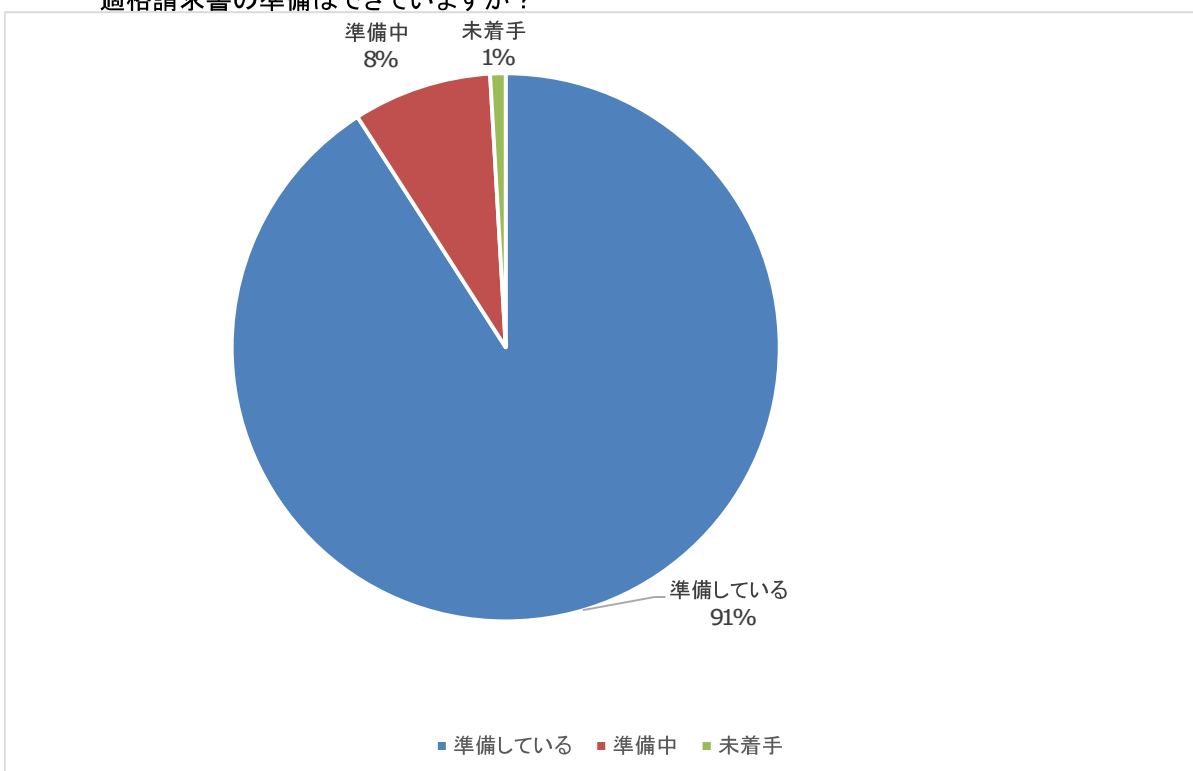
問25. (問23で融資を受けている方のみお答えください)
 経営者保証について



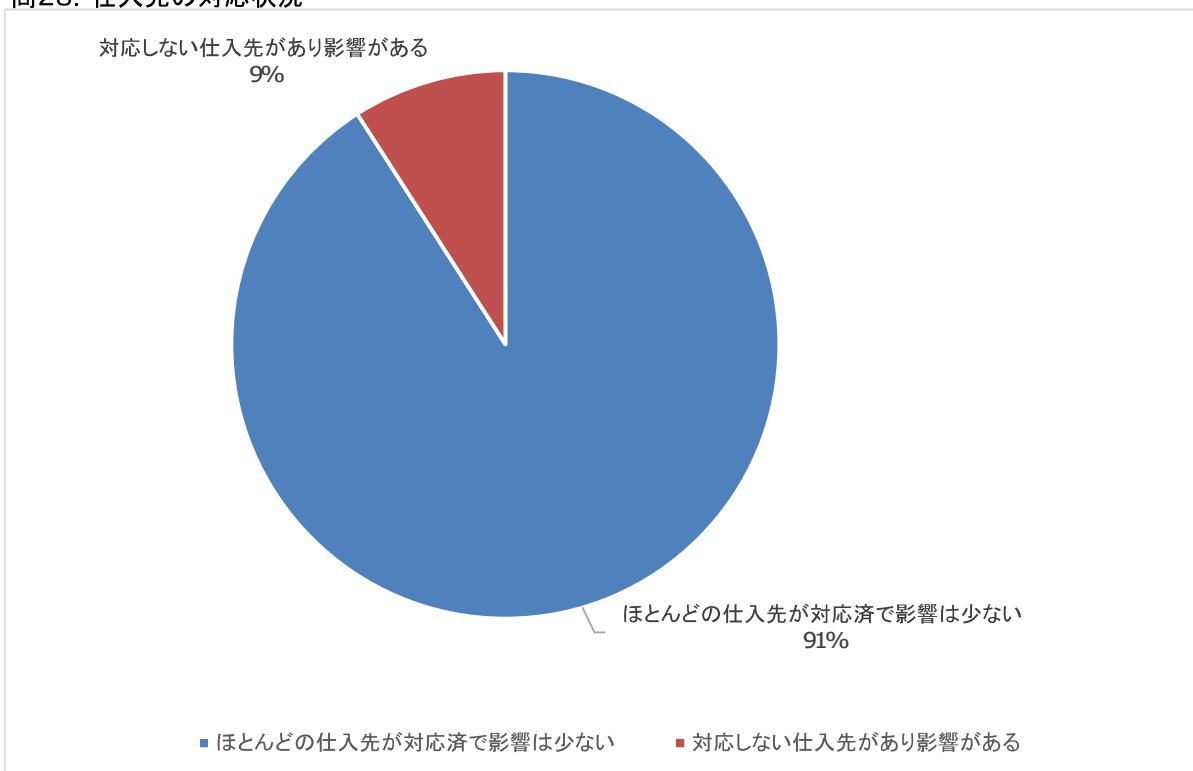
問26. 適格請求書発行事業者登録番号(インボイス番号)は取得されましたか？



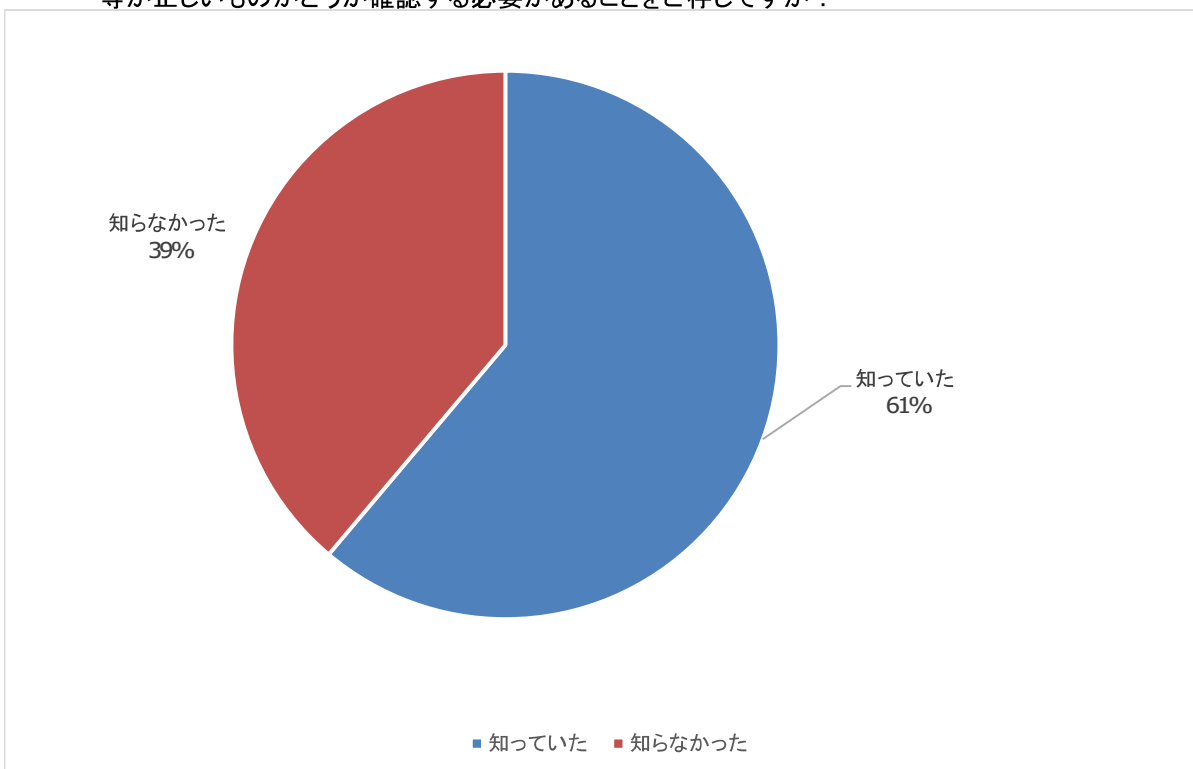
問27. (問26で取得済み、取得予定の方のみお答えください)
適格請求書の準備はできていますか？



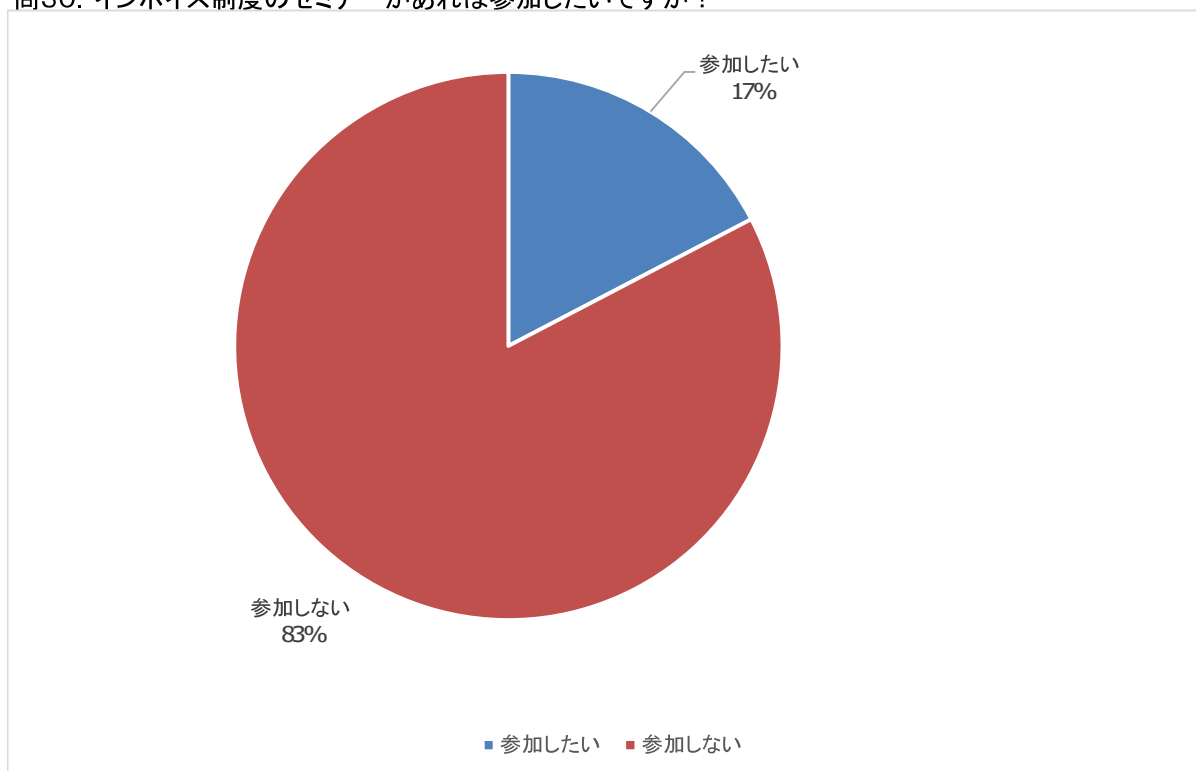
問28. 仕入先の対応状況



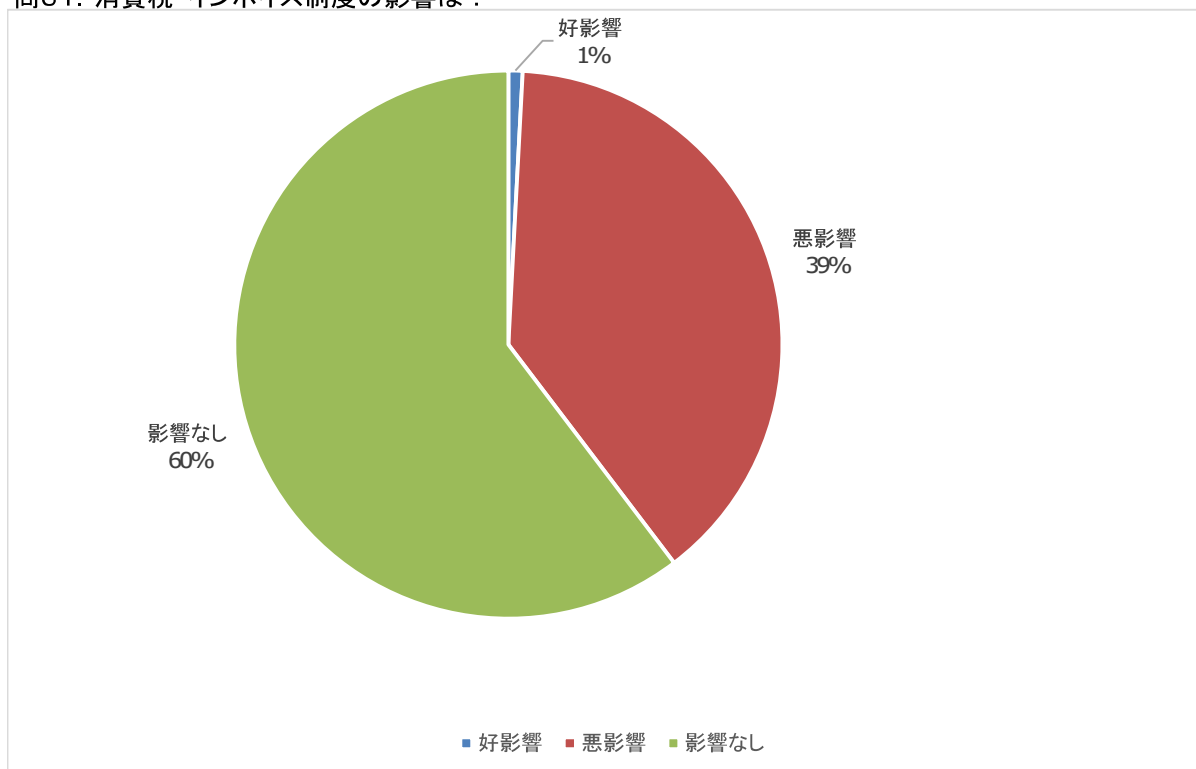
問29. 消費税の課税事業者は、取引先からの適格請求書に記載されたインボイス番号等が正しいものかどうか確認する必要があることをご存じですか？



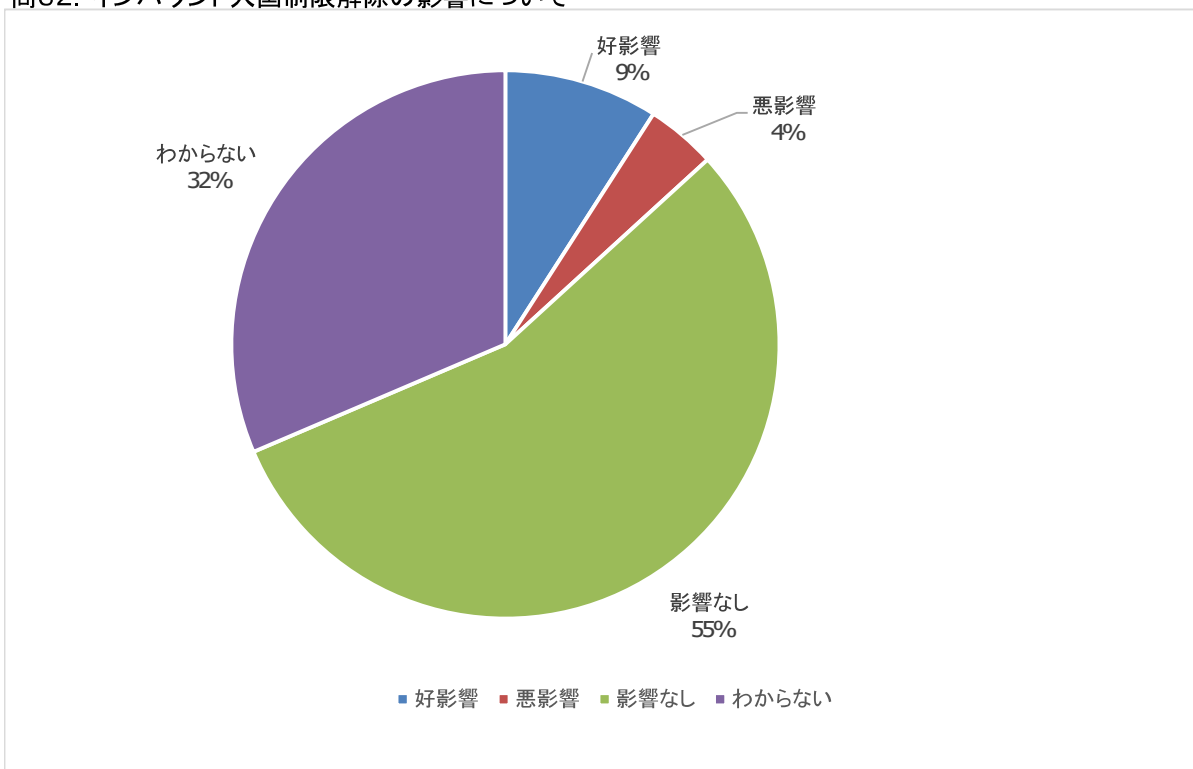
問30. インボイス制度のセミナーがあれば参加したいですか？



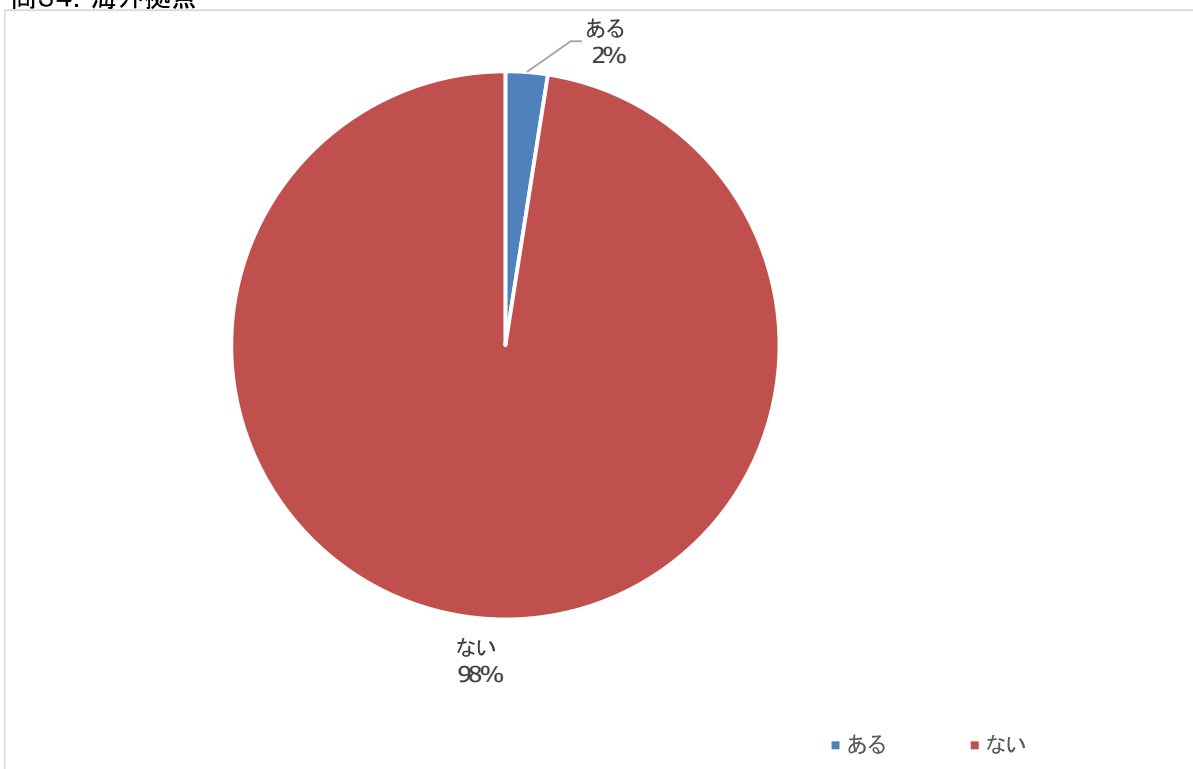
問31. 消費税・インボイス制度の影響は？



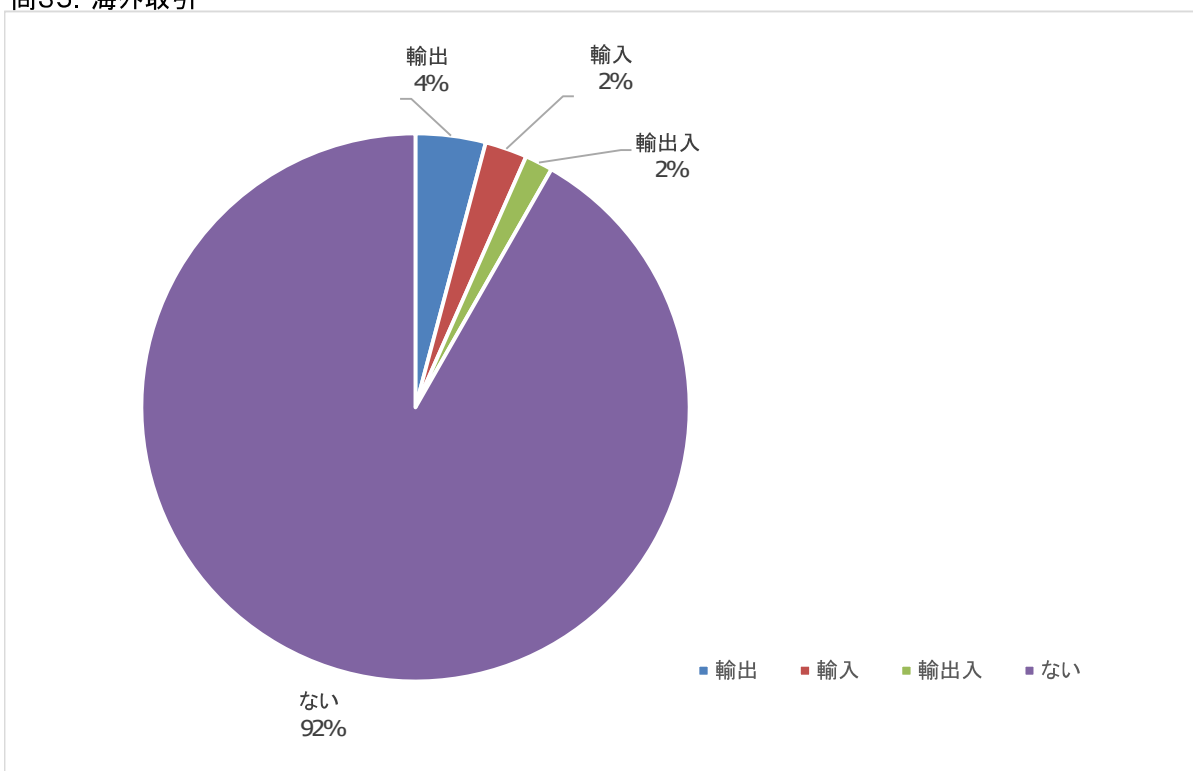
問32. インバウンド入国制限解除の影響について



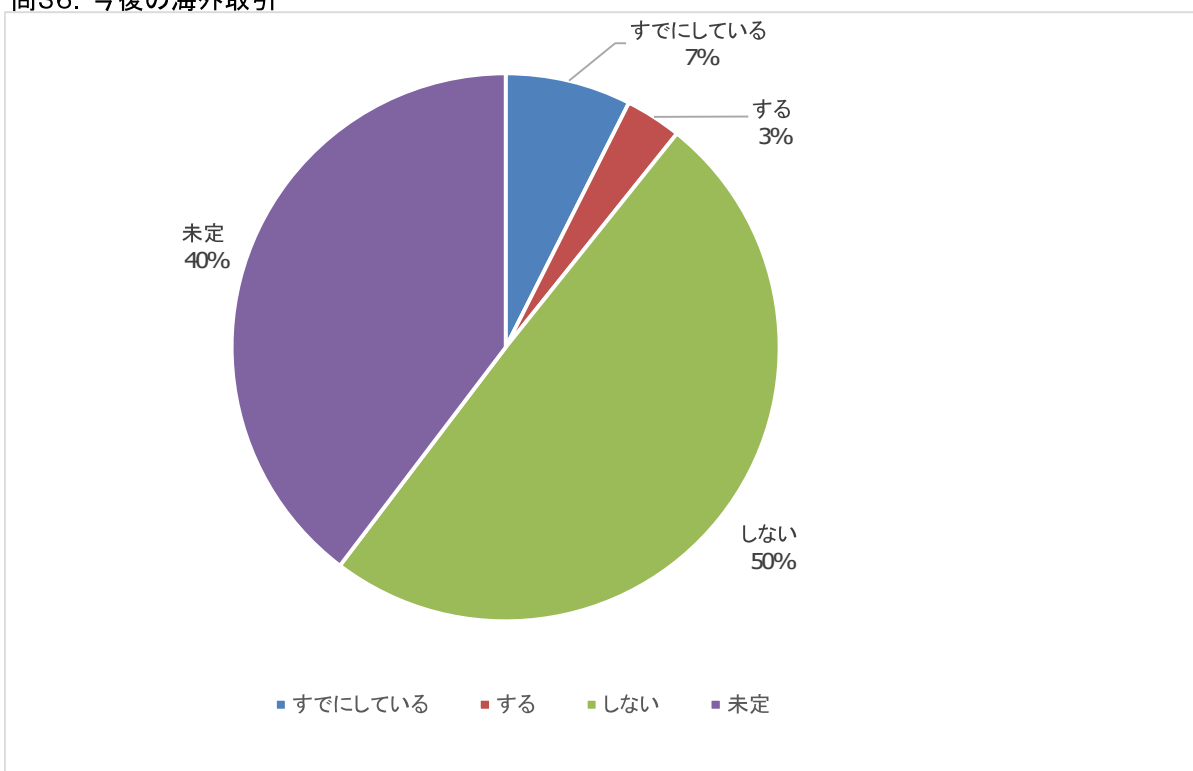
問34. 海外拠点



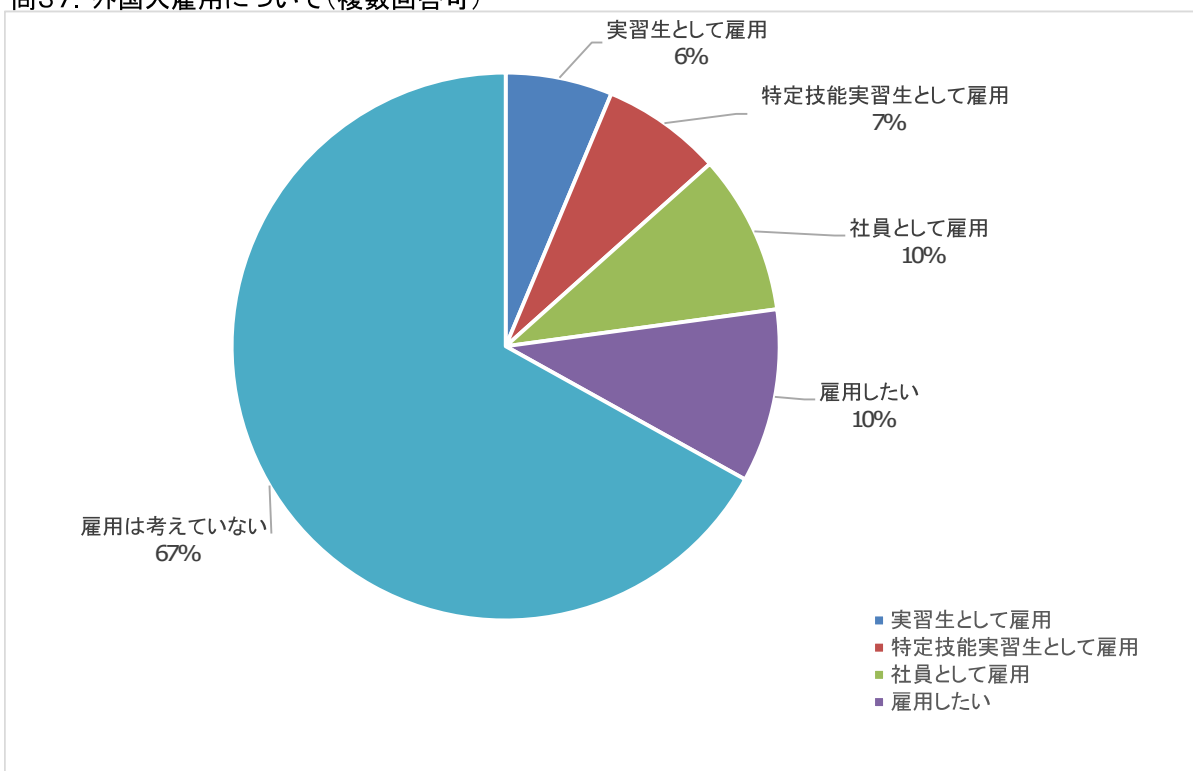
問35. 海外取引



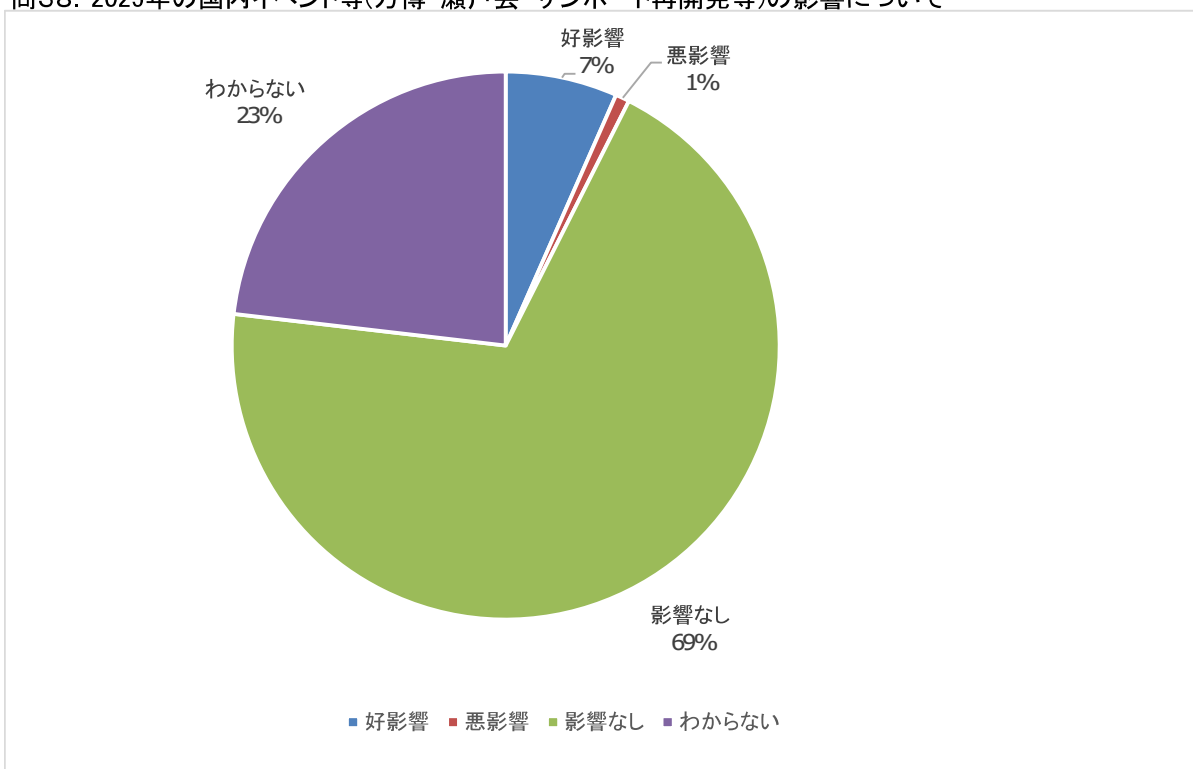
問36. 今後の海外取引



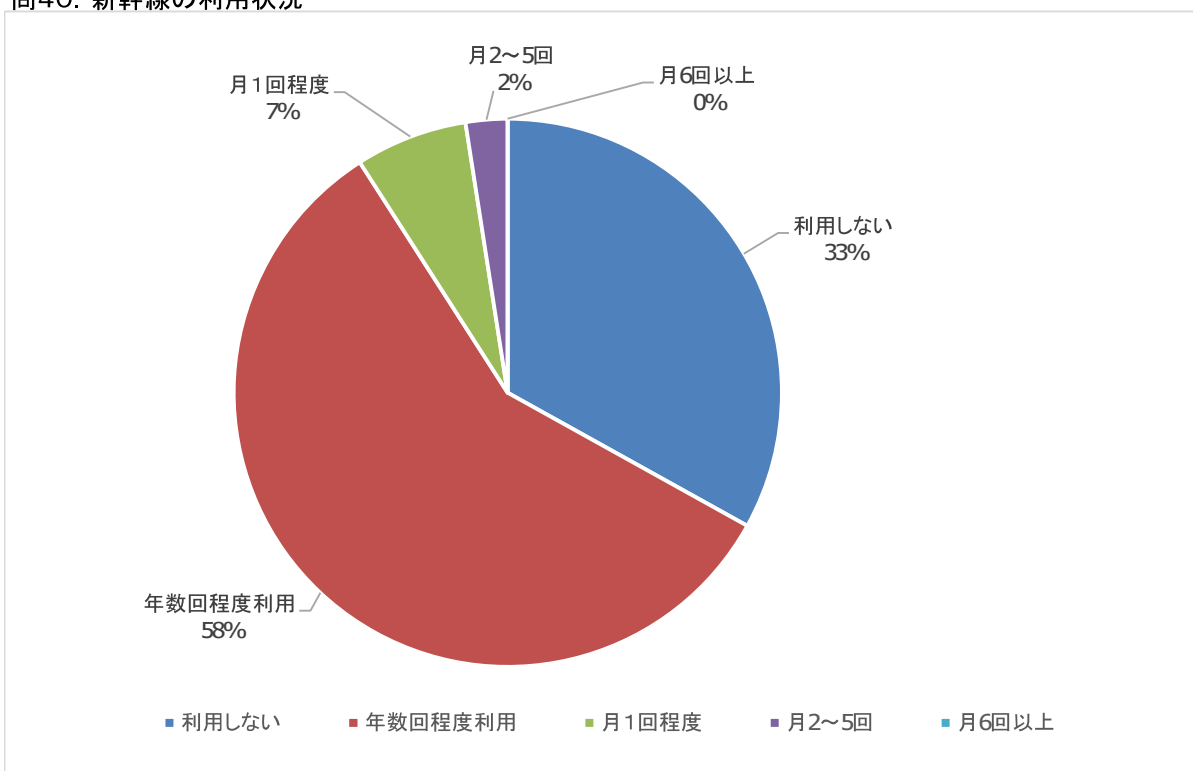
問37. 外国人雇用について(複数回答可)



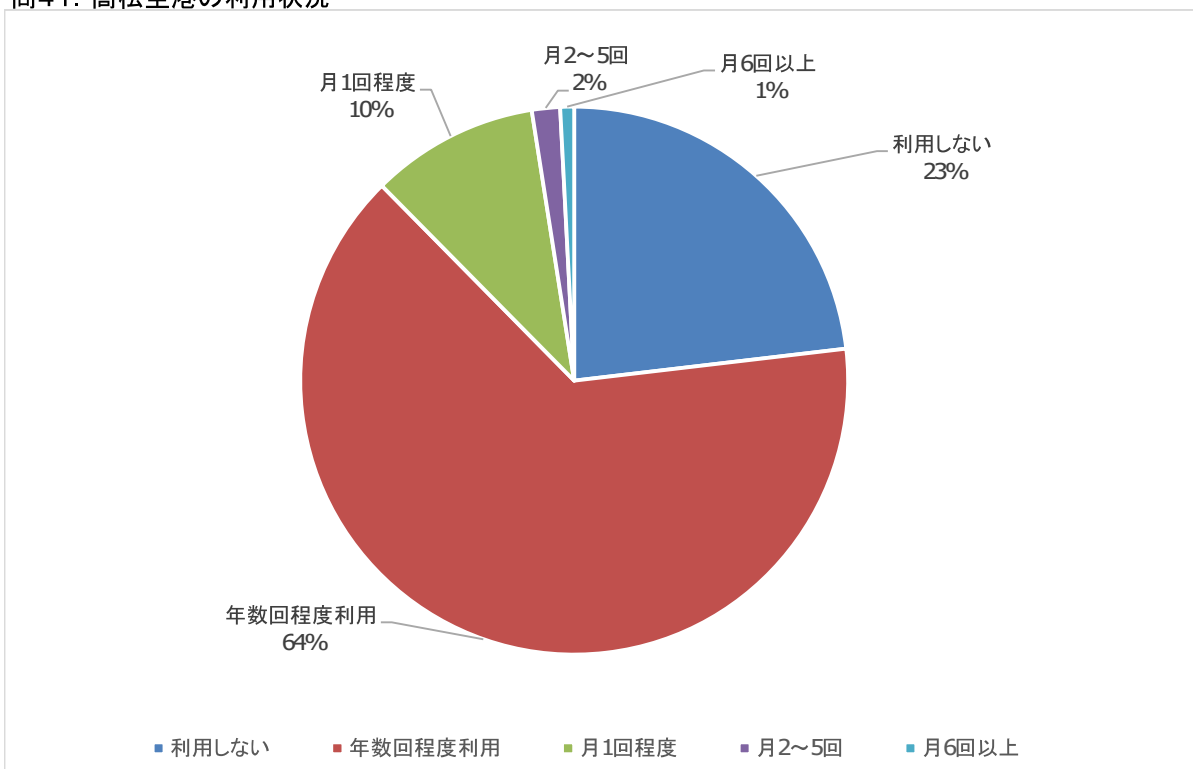
問38. 2025年の国内イベント等(万博・瀬戸芸・サンポート再開発等)の影響について



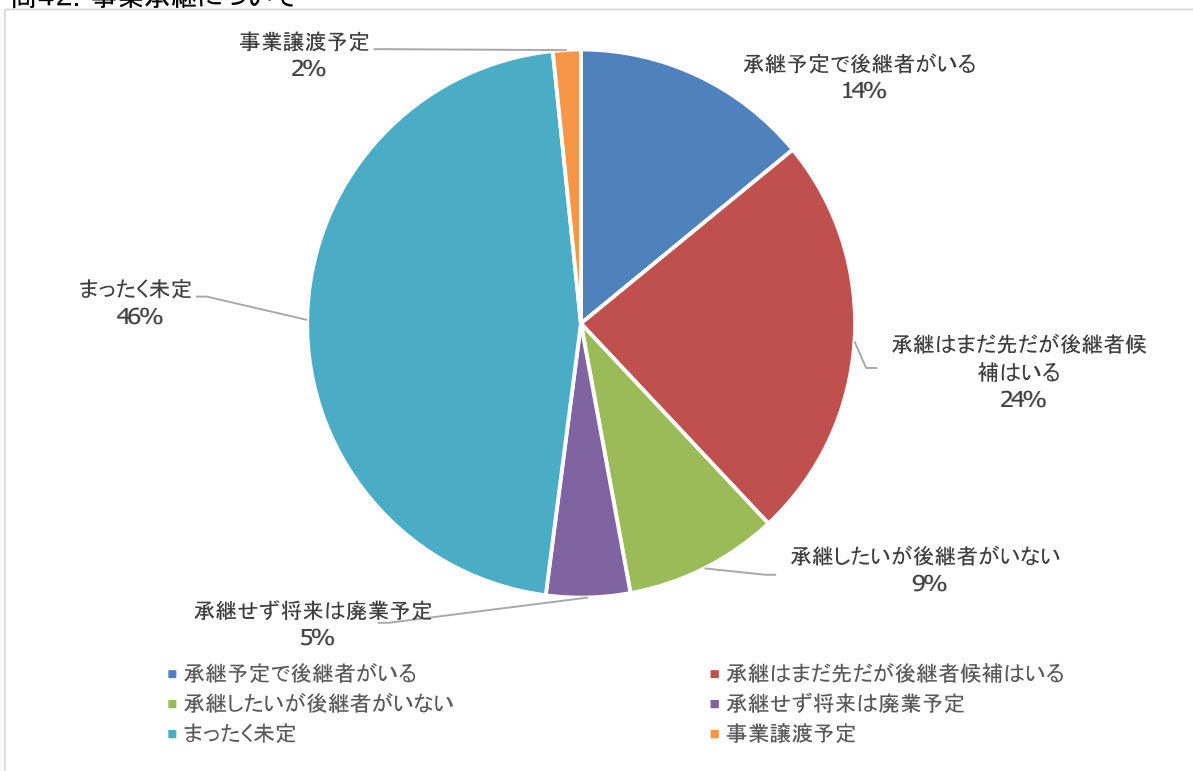
問40. 新幹線の利用状況



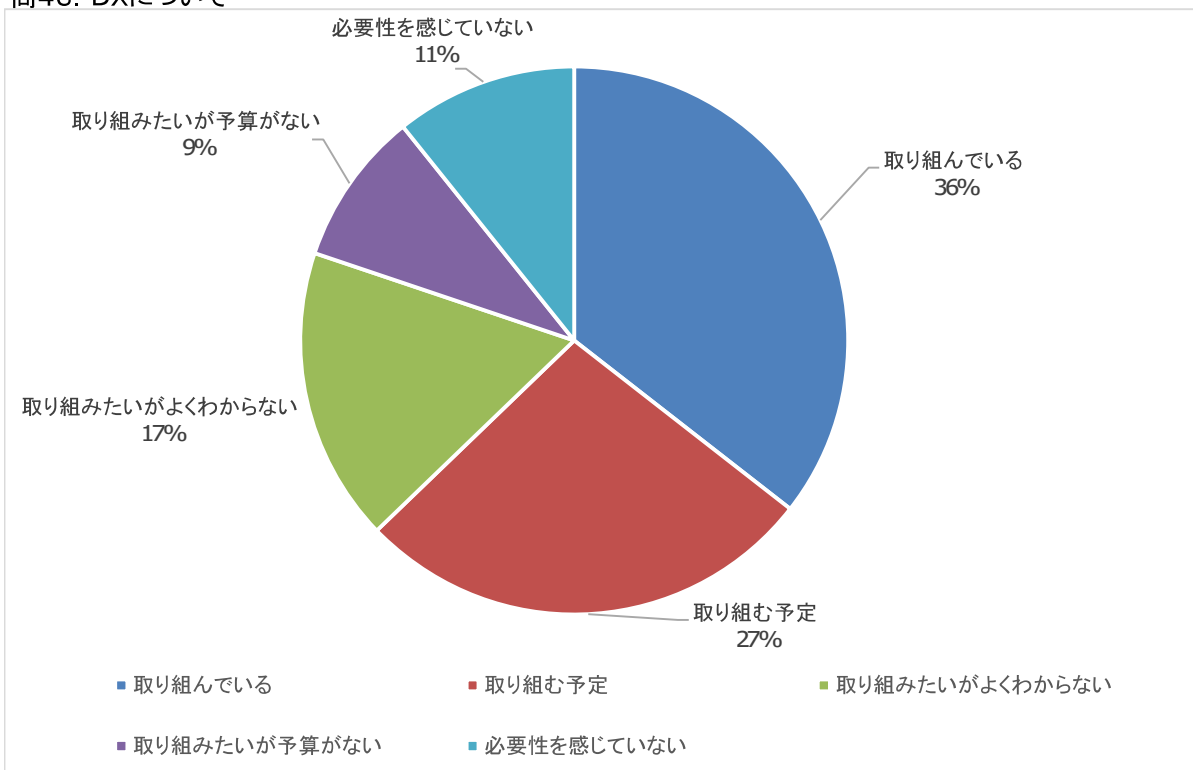
問41. 高松空港の利用状況



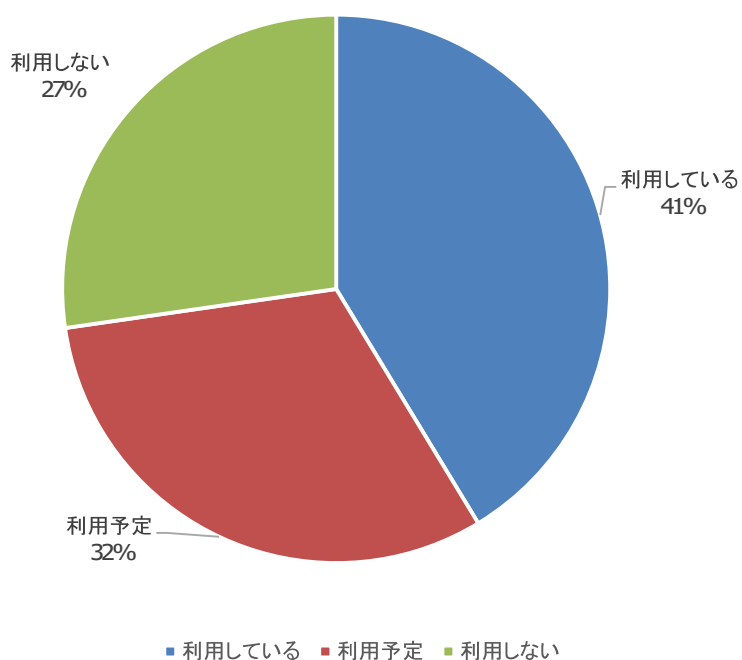
問42. 事業承継について



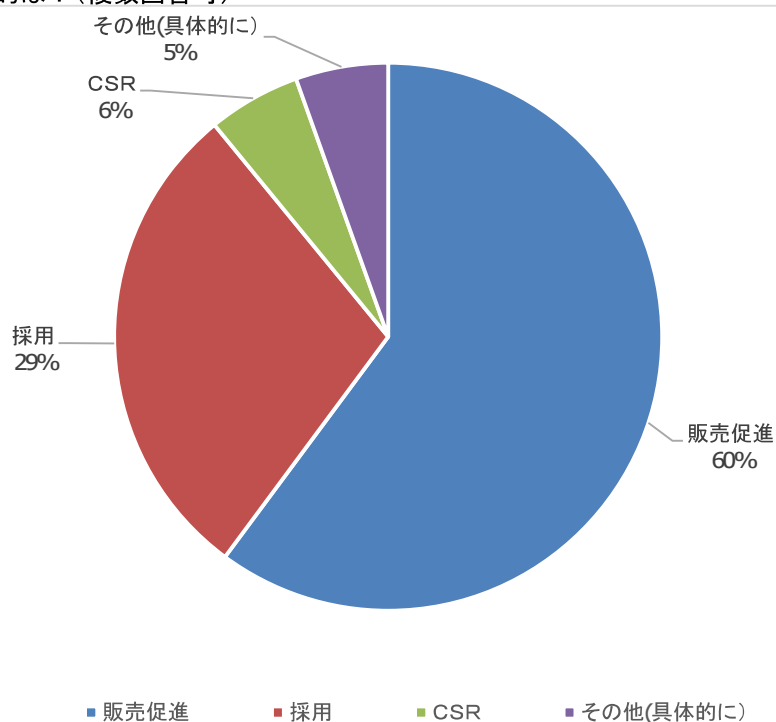
問43. DXについて



問45. 戦略的なインターネット及びSNS等の利用状況について



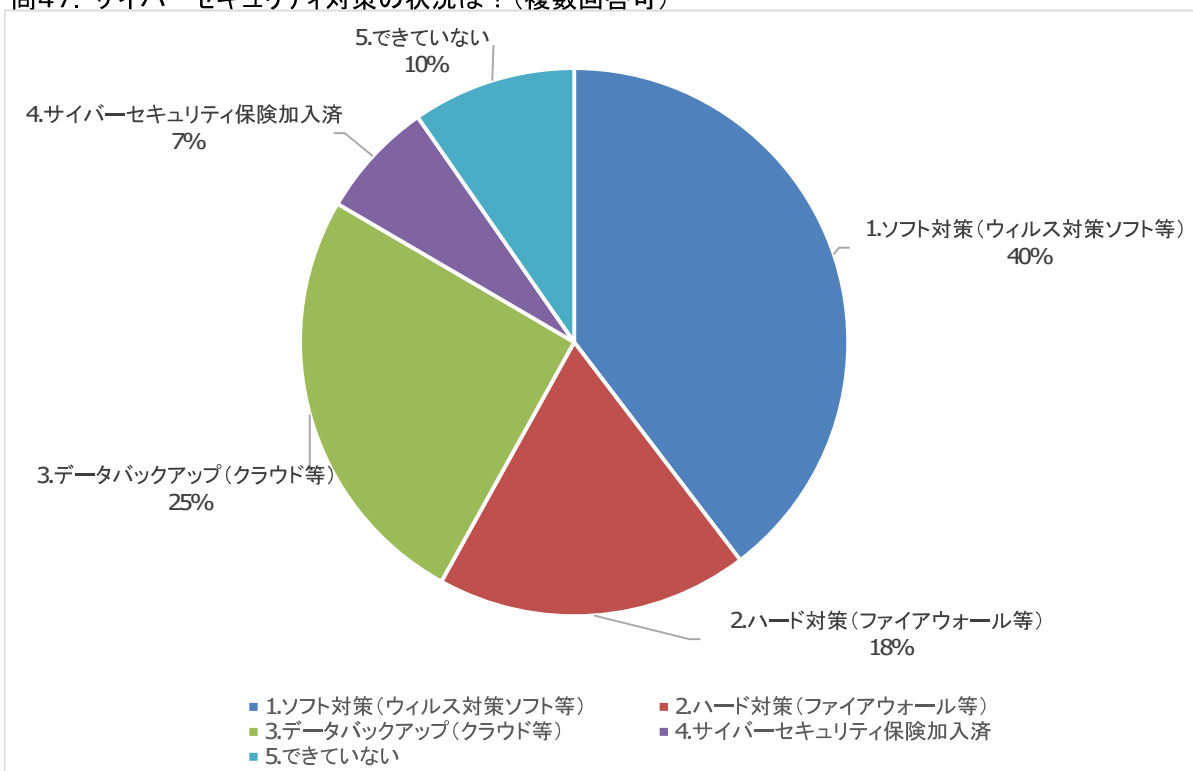
問46. (問45で利用している、利用予定の方のみお答えください)
利用目的は？(複数回答可)



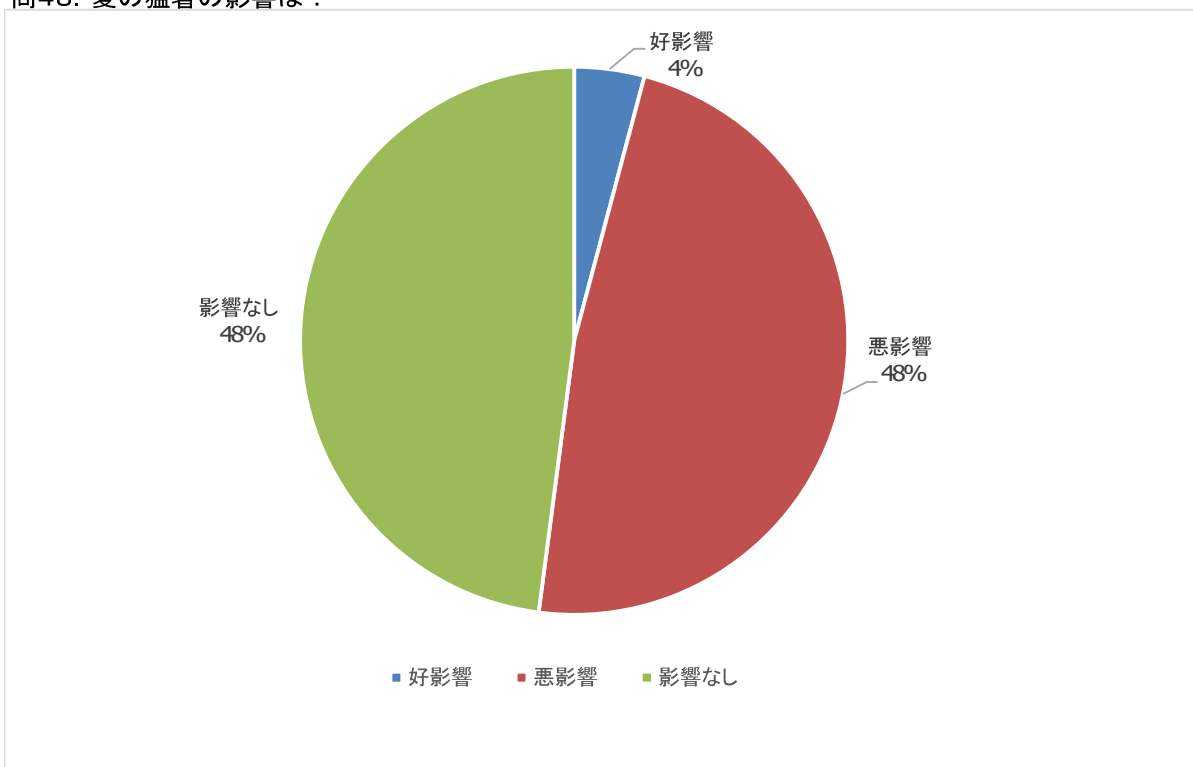
その他(具体的に)

- ・省力化
- ・情報提供
- ・情報収集
- ・仕事内容で必要。また作業に際しても必要
- ・OEM受注、会社を知ってもらうため

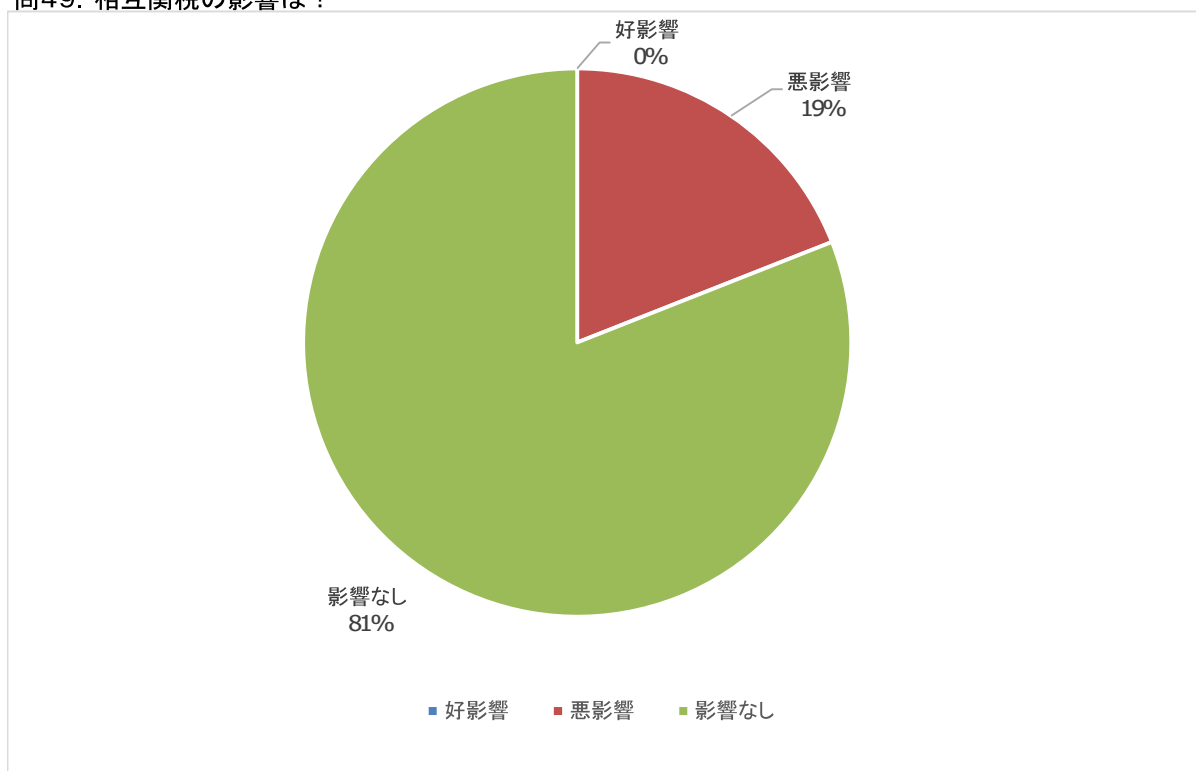
問47. サイバーセキュリティ対策の状況は？（複数回答可）



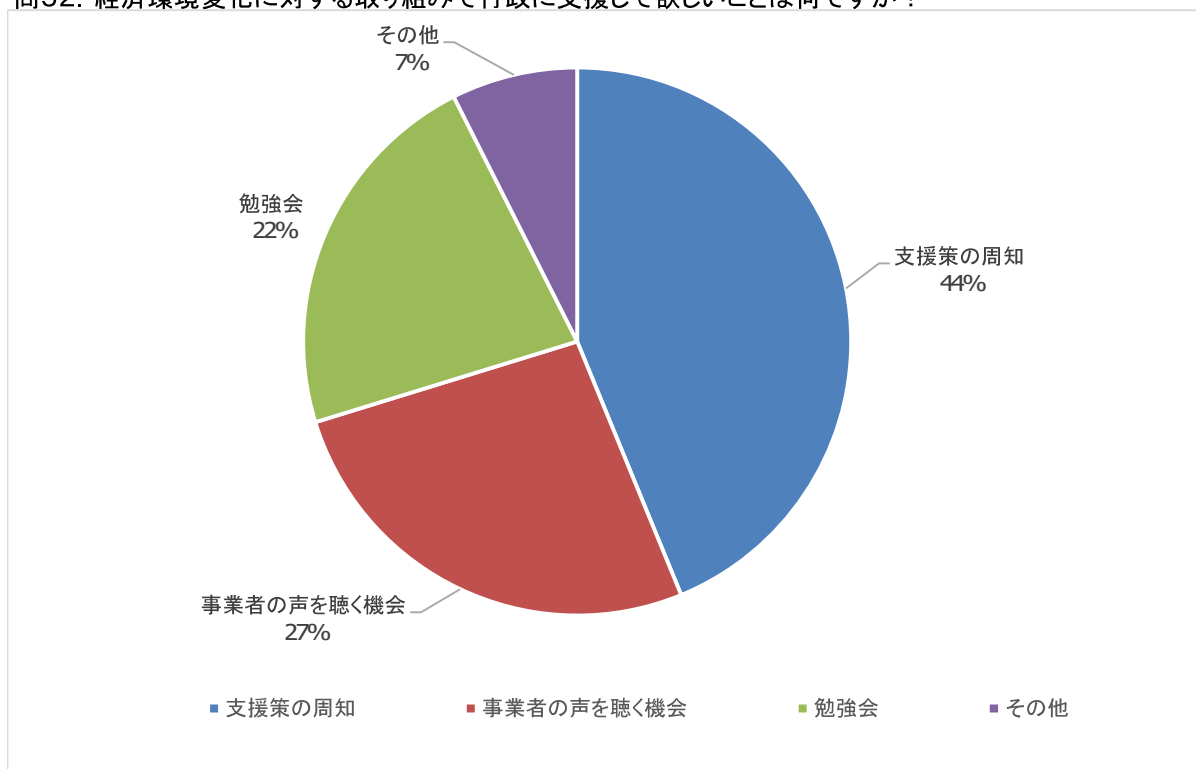
問48. 夏の猛暑の影響は？



問49. 相互関税の影響は？



問52. 経済環境変化に対する取り組みで行政に支援して欲しいことは何ですか？



問 21 人材不足で具体的にどんな影響が出ていますか？それに対する対策は？

- ・ 受注に向けて技術者の不足で見送るケースもある。良き人材を採りたいが中小企業の現実は厳しいと思う。既存の人の意識改革を先ず優先したい。
- ・ 特定の社員にかかる負担の増加（残業時間の増加）、新卒新規採用不足、中途入社募集
- ・ 外注費の増
- ・ 成長スピードの鈍化。採用活動の継続に加え、既存社員の成長支援。
- ・ 受注したくても受注できない
- ・ 突発的な退職者があった場合に人員補充に時間が掛かっている
- ・ 作業の停滞
- ・ 社員のリタイアで外注が多くなった
- ・ 人材の雇用難
- ・ 応援が増えた
- ・ 協力会社の人手不足により、現場作業の日程調整がしづらい
- ・ 案件の遅延、取りこぼし
- ・ 外注に出す必要がある
- ・ 外注費の増加
- ・ 20代の社員がいない。このままでは将来社員の年齢構成がいびつとなり業務に支障をきたす。定年者の予定があり、人材育成が急務と考える
- ・ 現在は適正人数で回していますが、インドネシアから来ている技能実習生がせっかく慣れて仕事も出来ていたのだが、3月に2名帰国予定。新しく2名が来る予定ですが、また新しく仕事内容を一から教えないといけないので動けるまでが時間がかかる。
- ・ 業務を捌く人が少ない
- ・ 仕事量の増加。積極的な求人
- ・ 残業・休日出勤の増加・作業効率低下
- ・ 業務の拡大
- ・ 病気・ケガなどの急遽の欠勤に対応が困難
- ・ 長時間の作業
- ・ 業務の滞留、残業してこなす
- ・ 施工能力減
- ・ 現場に日数を要するようになった。
- ・ 入れ替わりによる教育体制の整備
- ・ 時間が新たな事業に集中的に割けないので、人材採用は急務である。対策としては人材セミナーに参加したり、就職フェアに参加。広告媒体ではインディードで有料広告を出した。
- ・ 不足時には、既存社員への労働時間の増加がみられる
- ・ 業務の遅延。求人募集中。扶養の範囲内で働くパートさんが多いため、労働力が足りていない。
- ・ パートタイマー中心の雇用から正社員雇用へ移行している。”
- ・ 在住社員に無理を及ぼす
- ・ 売り上げの確保に営業あり

- ・一人に対しての仕事量が増える。代わりにできる人の育成。
- ・営業時間短縮
- ・仕事がうまくまわらない（1人あたりの負担が大きくなり疲弊してしまう恐れがある）。
有料求人媒体も活用を毎年1つはしている。
また、採用に tiktok の活用をされている会社もあるので、そのような事例も含め検討していきたい。
- ・外注費増と粗利率の低下
- ・経営者の負担が増えた。人材を増やすかは検討中。
- ・必要な時に対応出来ない
- ・長時間労働になっている。対策は、外注の活用とさらなる増収増益により人材を採用すること。
- ・採用と共育
- ・社員への負担。事業の計画。
- ・案件完了までの期間が長くなっているが、それに対する具体的な対策は今のところ行っていない。
- ・残業することでの身体的負担が社員にかかる。
- ・スケジュール調整、効率的な作業工程
- ・設備投資で増産を見込んでいるが人手の確保難でなかなか増産体制に入れない
- ・実際に欲しい時に足りなくて店が回らないことが多少出てきた
- ・個別面談で個人の要望など詳細に調査しキャリアアップに取り組んでいる。
- ・工期遅延、受注不可につながる
- ・仕事を断ることも
- ・やっと利用者が増えてきているが、対応が困難になりつつある
- ・新しい事業計画に着手できない
- ・業務の遅滞
- ・高齢化。
- ・期間雇用で知り合いにきてもらってなんとかしている
- ・人材がいればもっと仕事が取れる。離職率を下げる。
- ・仕事をうけきれない。
- ・仕事の対応
- ・1人当たりの業務量の負担が多い。休みが取れない
- ・一人一人の負荷が大きくなっている
- ・効率化及び残業
- ・店長独立に対しての人員補充ができていない
- ・残業が発生している
- ・派遣先企業に対する人材紹介の遅延
- ・他のことをやるのに人材が必要になるが、対策は身内で行うしかない。
- ・人件費と売り上げのバランスに悩む
- ・自社では人材不足の影響はないが、他社の人材不足によりスケジュールが狂うことがある。
- ・学校なので特定の教科の先生は非常勤講師で対応している。
- ・普段なら3人で行う作業を2人で行うため、既存の社員に大きな負担になる。
- ・ひとりの業務負担が増えている
- ・現場の仕事が回らず、社員の残業が増えている

- ・ 外部委託でカバーする
- ・ 依頼案件数に対し、対応ができかねる状況。パート等一次要員などを確保していきたい
- ・ 特になし、影響なし、困っていない 47

※問 32 【インバウンド対策】インバウンド入国制限解除の影響についてで、(好循環)・(悪循環)とお応えの企業のみお答えください

問 33 具体的な影響は何ですか？

(好循環)

- ・ 海外からの団体客予約が入るので。
- ・ 仕事が増えた
- ・ インバウンド旅行事業に取り組んでいるから
- ・ 宿泊施設への宿泊増
- ・ 高松空港の売上が好調に推移している。
- ・ 物販の売れ行きが好調／多言語用の看板のやり替えなどが増えた
- ・ どんどんきて欲しい
- ・ ホテル用地を始め、新規出店等で市場が活気ついている。
- ・ お客様が潤うことにより、当社も潤う
- ・ 飲食店での需要増に伴う荷動き改善。
- ・ 商店街には外国人が多くなった。

(悪循環)

- ・ 治安等の悪化
- ・ けいざいよりにちじょうのせいかつのふあんかんがます
- ・ 経済状況がなかなか好転しない中で不満や不安を感じていることに加えて、外国人によるルール違反マナー違反が不満や不安を増やし、世の中の雰囲気停滞している。
- ・ 入国に対して難民認定で所得を払わなくて国からの援助をもらう人がこれ以上増えれば、何のために日本国民だけが納税義務で追われるのか解らない
- ・ 施工制限等

【サンポート再開発】

※問 38 【大阪・関西万博】 2025 年の国内イベント等(万博・瀬戸芸・サンポート再開発等)の影響についてで、(好影響)・(悪影響)とお応えの企業のみお答えください

問 39 具体的影響は？

(好影響)

- ・ 万博への出展など自社を PR する機会となった
- ・ 旅行事業でお客様より受注がある
- ・ 瀬戸内芸術祭やアリーナの来場者の宿泊により宿泊施設が伸びている。
- ・ アリーナ開業のおかげでサンポート地区の売上が増加した。
- ・ あなぶきアリーナ OPEN と瀬戸芸の影響で上期は好調に推移している。
- ・ イベント作業の増加

- ・商店街には外国人が多くなった。
- ・瀬戸芸では、香川の知名度が上がること。瀬戸芸で観光客が増加していること。何より、芸術の拠点になってきていること。

(悪影響)

- ・一部の資材の納期が未定になるなど、大量に資材の消費が起こり流通が滞るなどおこった

※問 43 DX・インターネット活用】DXについてで(取り組んでいる)とお応えの企業のみお答えください

問 44 具体的な取り組みを教えてください

- ・保険会社とのやりとり。契約時のDX。
- ・AI などフル活用しています。
- ・業務への生成AI の活用、基幹システムのクラウド化、バックアップのクラウド化など
- ・RPA 導入
- ・顧客管理、レジシステム
- ・案件管理システムの構築、勤怠管理アプリと労務管理・給与計算、会計システムの連携
課題解決サイトの運用と販路拡大等
- ・クラウドシステムの導入
- ・LINE 活用、カレンダーでスケジュール共有
- ・社内情報はシステムに一元管理
- ・自社ポータルサイトを作って、社員の連絡、仕事内容の把握、検索、共有などに利用している。チャット GPT も取り入れて利用しています。
- ・自動化・生成AI 活用など業務はほぼすべて
- ・チャット GPT、ジェミニ
- ・社内はほぼシステム化完了、更に進化させている
- ・事務処理への AI 導入、書類のデジタル化など
- ・AI を活用した文書作成業務
自動化出来る業務の RPA 化
SE の採用
- ・クラウド・インターネットでの SFA, グループウェア, 業務ログ管理, チャットシステムやデータ保管など、事務所で居なくても仕事は出来る体制を構築している。
RPA は導入を試みたが、スタッフの不評もあり断念。
- ・生成 AI 等活用して業務の効率化を図っている
- ・基幹システム自体を変更した
- ・勤怠管理や入退室管理のソフトを導入した。
- ・受発注 請求書発行等
- ・事業化
- ・日常業務で PC・スマホと周辺機器を活用している。
- ・勤怠管理のクラウド化
給与計算までを今後シームレスに行う予定
製造については、仕様書を NAS に取り込み、タブレットやスマホでどこでも見れる状態になっている

が、まだまだアナログが強い。

- ・クライアントとの打合せは Web 会議・SNS ツールの利用を原則としている。
- ・生成 AI の活用による、お客様への提案内容の質向上と業務の効率化。
- ・IT ツールの活用
- ・情報収集、発信、会計業務等に使用
- ・工事管理、会計、人事におけるのバックオフィスの DX 化のためシステム導入を始めている。
- ・企業秘密
- ・ChatGpt や AI アプリなどを使って、業務の効率化をしている。
- ・電子申請
- ・勤怠管理、給与計算
- ・Google クローム
- ・請求関係、事務関係
- ・会計ソフトの活用
- ・報告・提出書類の簡素化
- ・e-スポーツクラブ立ち上げる
- ・クラウド会計
- ・SNS を使用して商品、会社情報を発信。
- ・専門業者です
- ・ChatGPT
- ・弊社は IT 開発企業のため自身で対応している
- ・工程進捗の見える化システム

問 50 今、一番困っていることは何ですか？

- ・賃貸不動産の修繕が増えている。
- ・価格高騰によつての買い控え
- ・人材不足
- ・人材不足
- ・社会保険料が高い、物価の高騰
- ・メーカー各社の値上げ対応を価格転嫁できていない現状
- ・需要の減少
- ・経験者採用ができない
- ・集客
- ・新規営業
- ・物価の高騰
- ・ますます厳しさを増す夏季の高温による生産への悪影響
- ・仕入れ金額等の増加
- ・原材料の高騰、特に輸入物が円安の影響を受けやすいこと
- ・直近だと、最賃上昇対応が手間がかかっている
- ・商品の入荷問題
- ・消費税と社会保険料の負担が重すぎる

- ・人材不足と不景気で民間投資が無いので、仕事が無い
- ・人材採用
- ・継続的な賃上げについて、業績が付いていくことができるかどうか
- ・車間距離不足
- ・人手不足と業務の効率化
- ・社員さんの高齢化
- ・売上減少 回復兆しのない事
- ・人件費、原材料費等のコスト増。
- ・自分の高齢化
- ・社員教育、受注減への対応
- ・キャッシュフロー
- ・集客。
- ・内部留保を確保したい。
- ・共育
- ・社員教育
- ・売り上げベースの底上げ
- ・採用求人を出しても反応が非常に少ない。
- ・下請けで請け負う際の価格
- ・生活していく為の収入に対する税金の圧迫が困る
- ・人材不足
- ・人材不足
- ・利用者獲得と対応
- ・物価高でなかなか売上を伸ばせていない。
- ・資金繰り
- ・顧客数の減少
- ・スタッフ定着
- ・資金繰り
- ・人材の確保
- ・採用（定着）
- ・若手社員がパニック障害（もともと持っている）で休職中 どのように声掛けしたらいいかわからない
- ・営業活動
- ・工事費等の引上げに対する渋り
- ・人材採用
- ・社員育成・教育・定着率のアップ
- ・後継者問題
- ・人財不足
- ・顧客獲得
- ・売り上げ減により資金繰り悪化。 対策として、コロナ融資の返済に対して銀行と返済猶予の方向で話し合っている。
- ・人員不足、社員育成、薄利

問 51 経済環境変化に対応するために具体的に取組んだ（取組もうとしている）自社の方策(変革)を教えてください

- ・ 不動産の事業件数を増やす。
- ・ 社員教育、販路拡大に向けてのマッチングイベントへの参加
- ・ 補助金の活用
- ・ 有給休暇の考え直し、社員教育に取り組む
- ・ 組織の継続的な変化、社員教育、システム化、AI 導入模索、自動化設備検討、販路の開拓
- ・ ネットの強化
- ・ 情報収集
- ・ 外注していたものを自社生産に切り替える
- ・ 自社工場では、自動化に出来るだけ対応するための機械を入れる（補助金を使って）。ネットを通じて、海外販売を強化する。
- ・ DX 化
- ・ 選挙に行く
- ・ 質素節約
- ・ 循環型エネルギーの提案へのスキーム作りに苦労しているが、チャレンジしていきたい
- ・ 新規事業
- ・ 6 月に製品の値上げ実施。状況を見ながら古い設備の修繕、入替を予定している。
- ・ 自社ブランドの強化に向けた取り組み
生産性向上の仕組みづくり（委員会制度か定期 MTG か）
- ・ サービスの幅を広げて、利幅を増やした
- ・ 新サービスの開発。
- ・ SDGs、BCP、働き方改革推進宣言の取得と共に就業規則や経営計画の毎年の見直しの継続。新規事業の模索
- ・ 暑熱対策
- ・ 物価高騰のため、給与の賃上げをすべく設備投資を行い効率化を図り利益率 UP を目指す
- ・ リサイリル率
- ・ SNS の強化で販促を行っている。実店舗が厳しい状況なので、通販を強化している。親和性のある別事業の強化をしている。
- ・ エコアクション 21 の実施
- ・ 販促の拡充
- ・ 企業の若返りを促進する為に若手の雇用をおこなっている。
- ・ ゴミ分別、リサイクル等
- ・ 現在検討中
- ・ 事業計画を発表して集客に繋げる。
- ・ 新たなプランを開発。DX 化。
- ・ 業務の効率化（デジタル化）
- ・ 経済環境変化の意味がわかりません
- ・ 特になし 7

激変する環境変化に関する緊急アンケート調査 2025

- ・ 回答数前年より 14 件減、回答率 1.0%減
- ・ 4-9 月は、前年より減収減益 25%（7%増）
- ・ 10-3 月は、前年より減収減益 19%（6%増）、2019 年対比では、24%（8%増）
- ・ 経常利益は黒字が 33%（6%増）、やや赤字が 11%（4%減）
- ・ 価格転嫁は、難しいが 27%（7%増）
- ・ 賃上げは、できないが 21%（2%増）
- ・ 最低賃金は、非常に影響あり 22%（6%増）
- ・ 夏季賞与は、昨年並みが 40%、増額が減って減額が増えた
- ・ 設備投資は、新規が 19%（6%増）
- ・ 補助金は、申請予定 47%（20%増）
- ・ 経営指針は、計画通りが 30%（8%増）
- ・ BCP は、予定なしが 53%（5%増）
- ・ SDGs は、予定なしが 43%（3%増）
- ・ 就業規則は、見直す予定が 47%（7%増）
- ・ 36 協定は、毎年提出が 46%（4%増）
- ・ 人材は、不足・やや不足の合計が 45%（前年よりは減ったが高水準）
- ・ 採用は、昨年とほぼ同水準
- ・ コロナ融資は、ありが 41%（8%減）
- ・ 返済は、厳しいと借り換え検討が若干増
- ・ 経営者保証は、はずしたが 34%（7%増）
- ・ インボイス番号は 91%が取得済み
- ・ インボイス準備は、91%が完了
- ・ 仕入先は、影響ありが若干増
- ・ 確認の必要は知らなかったが 39%（4%増）
- ・ インボイスの影響は、影響なしが 60%（3%増）
- ・ 入国制限解除は、昨年とほぼ同水準
- ・ 海外拠点は、変化なし
- ・ 海外取引は、なし 92%（6%増）
- ・ 今後の海外取引は、未定が 40%（7%増）
- ・ 外国人雇用は、雇用は考えていないが 67%だが 9%減少
- ・ サポート再開発は、影響なしが 69%（24%増）
- ・ 新幹線は、利用しないが 33%（5%減）
- ・ 高松空港は、利用しないが 23%（10%減）
- ・ 事業承継は、後継者候補がいるが 24%（5%増）
- ・ DX は、取り組んでいるが 36%（11%増）
- ・ SNS は、利用しているが 41%（7%増）
- ・ 利用目的は、採用が 29%（6%増）
- ・ サイバーセキュリティ対策は、昨年とほぼ変化なし
- ・ 猛暑は、悪影響と影響なしがともに 48%
- ・ 相互関税は、影響なしが 81%だが、好影響は 0%
- ・ 行政への要望は、支援策の周知が 44%（12%増）

	2022年	2023年	2024年	2025年	差
調査対象	1537	1552	1569	1588	19
回答数	120	115	135	121	-14
	%	%	%		ポイント
回答率	7.8	7.4	8.6	7.6	-1.0
問1 業種					
農林水産業	4	3	3	4	1
建設業	13	18	20	22	2
製造業	10	9	10	10	0
運輸・通信業		3	0	0	0
卸売・小売業	18	21	17	15	-2
飲食業	5	4	2	2	0
金融・保険業	5	2	4	2	-2
不動産業	5	3	3	5	2
サービス業	32	31	33	32	-1
その他	8	6	8	8	0
問2 社員数					
1名	17	13	13	12	-1
2-4名	27	28	25	20	-5
5-9名	22	19	23	22	-1
10-19名	18	20	18	21	3
20-29名	5	4	5	4	-1
30-49名	6	7	7	12	5
50-99名	2	6	4	5	1
100名以上	3	3	5	4	-1
問3 4-9月前年対比					
増収増益	30	43	36	35	-1
増収減益	15	9	11	11	0
減収増益	4	5	5	4	-1
減収減益	28	21	18	25	7
変化なし	23	22	30	25	-5
問4 4-9月2019年対比					
増収増益	25	38	47	49	2
増収減益	11	9	10	7	-3
減収増益	4	4	2	6	4
減収減益	43	27	21	22	1
変化なし	16	22	20	16	-4
未回答	1				0
問5 10-3月前年対比					
増収増益	29	29	35	36	1
増収減益	14	9	11	8	-3
減収増益	4	5	5	4	-1
減収減益	28	22	13	19	6
変化なし	25	35	36	33	-3
問6 10-3月2019年対比					
増収増益	24	34	46	47	1
増収減益	12	9	12	7	-5
減収増益	3	2	4	2	-2
減収減益	40	27	16	24	8
変化なし	21	28	22	20	-2
問7 4-9月経常利益					
黒字	22	28	27	33	6
やや黒字	22	30	25	21	-4
トントン	19	18	24	26	2
やや赤字	17	14	15	11	-4
赤字	20	10	9	9	0
問8 10-3月経常利益					
黒字	22	23	25	30	5
やや黒字	22	28	25	22	-3
トントン	27	29	30	32	2
やや赤字	17	12	14	11	-3
赤字	12	8	6	5	-1
問9 価格転嫁					
できている	20	25	25	20	-5
一部	32	45	45	40	-5
予定	20	12	9	13	4
難しい	28	18	20	27	7
問10 賃金					
4%以上	12	22	23	22	-1
2-4%	17	22	27	24	-3
2%未満	19	18	12	18	6
できない	31	21	19	21	2
社員がいない	21	17	19	15	-4

	2022年	2023年	2024年	2025年	差
	%	%	%	%	ポイント
問11 最低賃金					
非常に影響あり		16	16	22	6
影響軽微		35	45	44	-1
対象者なし		49	39	34	-5
問12 夏季賞与					
増額		22	25	19	-6
昨年並み		34	33	40	7
減額		4	2	6	4
支給なし		40	40	35	-5
問13 設備投資					
新規	27	23	13	19	6
補強	12	18	10	9	-1
更新	13	7	15	16	1
予定なし	48	52	62	56	-6
問14 補助金					
申請予定		62	27	47	20
申請しない		38	73	53	-20
問15 経営指針					
計画通り	22	28	22	30	8
見直し	12	12	16	9	-7
見直し予定	32	30	27	27	0
作っていない	34	30	35	34	-1
問16 BCP					
作成済み	21	21	25	21	-4
作成中	5	4	2	6	4
作成予定	26	29	25	20	-5
予定なし	48	46	48	53	5
問17 SDGs					
取り組んでいる	41	39	39	40	1
取り組む予定	33	27	21	17	-4
予定なし	26	34	40	43	3
問18 就業規則					
見直した	28	20	30	26	-4
見直し予定	38	47	40	47	7
ない	14	18	12	11	-1
社員がいない	20	15	18	16	-2
問19 36協定					
毎年提出	31	38	42	46	4
今後提出	11	6	7	6	-1
届出していない	17	22	21	17	-4
義務なし	41	34	30	31	1
問20 人材					
過剰	3	2	2	0	-2
やや過剰	8	8	2	4	2
適正	50	35	39	51	12
やや不足	33	41	41	37	-4
不足	6	14	16	8	-8
問22 採用					
新卒	12	11	12	12	0
中途	23	36	32	34	2
予定なし	65	53	56	54	-2
問23 コロナ融資					
あり	54	51	49	41	-8
なし	46	49	51	59	8
問24 返済					
返済始まっており問題なし	43	54	64	64	0
返済始まっており厳しい	12	19	23	24	1
返済まだ問題なし	34	12	9	6	-3
返済まだ交渉予定	8	10	3	2	-1
返済まだ借り換え検討	3	5	1	4	3
問25 経営者保証					
はずした		22	27	34	7
はずしてもらえず		14	14	16	2
交渉していない		64	59	50	-9

	2022年	2023年	2024年	2025年	差
	%	%	%	%	ポイント
問26 インボイス番号					
取得済		87	89	91	2
取得予定		3	1	0	-1
取得予定なし		10	10	9	-1
問27 インボイス準備					
完了		84	95	91	-4
準備中		13	2	8	6
未着手		3	1	1	0
問28 仕入先					
影響少ない		84	93	91	-2
影響あり		16	7	9	2
問29 確認の必要					
知っていた		63	65	61	-4
知らなかった		37	35	39	4
問30 セミナー					
参加		37	25	17	-8
不参加		63	75	83	8
問31 インボイス影響					
好影響			2	1	-1
悪影響			41	39	-2
影響なし			57	60	3
問32 入国制限解除					
好影響	12	9	6	9	3
悪影響	2	2	6	4	-2
影響なし	55	60	54	55	1
わからない	31	29	34	32	-2
問34 海外拠点					
ある	2	2	2	2	0
ない	98	98	98	98	0
問35 海外取引					
輸出	2	6	4	4	0
輸入	8	2	6	2	-4
輸出入	2	0	4	2	-2
なし	88	92	86	92	6
問36 今後の海外取引					
すでにしている	8	7	10	7	-3
する	8	2	4	3	-1
しない	54	57	53	50	-3
未定	30	34	33	40	7
問37 外国人雇用					
実習生	2	4	7	6	-1
特定技能実習生	2	4	2	7	5
社員	4	3	4	10	6
雇用したい	11	16	11	10	-1
雇用は考えていない	81	73	76	67	-9
大阪・関西万博					
好影響	11	9			
悪影響		3			
影響なし	53	50			
わからない	36	38			
サンポート再開発					
好影響	13	13			
悪影響		1			
影響なし	46	58			
わからない	41	28			
瀬戸芸					
好影響	11	16			
影響なし	61	62			
わからない	28	22			
問38 サンポート再開発等					
好影響			14	7	-7
悪影響			0	1	1
影響なし			45	69	24
わからない			41	23	-18
問40 新幹線利用					
年数回	49	57	56	58	2
月1回程度	1	5	4	7	3
月2-5回	3	3	2	2	0
利用しない	47	35	38	33	-5
問41 高松空港利用					
年数回	57	55	55	64	9
月1回程度	10	6	7	10	3
月2-5回		2	5	2	-3
月6回以上		1	0	1	1
利用しない	33	36	33	23	-10

	2022年	2023年	2024年	2025年	差
	%	%	%	%	ポイント
問42 事業承継					
後継者いる	13	13	16	14	-2
後継者候補いる	26	17	19	24	5
後継者いない	13	11	10	9	-1
廃業予定	8	9	5	5	0
事業譲渡予定			2	2	0
未定	40	50	48	46	-2
問43 DX					
取り組んでいる	20	21	25	36	11
取り組む予定	20	29	25	27	2
よくわからない	26	29	27	17	-10
予算がない	9	2	6	9	3
必要性を感じていない	25	15	17	11	-6
問45 SNS					
利用している	37	39	34	41	7
利用予定	35	36	33	32	-1
利用しない	28	25	33	27	-6
問46 利用目的					
販売促進	69	65	65	60	-5
採用	20	23	23	29	6
CSR	8	9	4	6	2
その他	3	3	8	5	-3
問47 サイバーセキュリティ対策					
ソフト対策			39	40	1
ハード対策			16	18	2
バックアップ			28	25	-3
保険対策			6	7	1
できていない			11	10	-1
電帳法影響					
好影響			2		-2
悪影響			30		-30
影響なし			68		-68
定額減税影響					
好影響			11		-11
悪影響			15		-15
影響なし			74		-74
追加利上げ影響					
好影響			4		-4
悪影響			32		-32
影響なし			64		-64
残業上限規制影響					
好影響			2		-2
悪影響			21		-21
影響なし			77		-77
問48 猛暑影響					
好影響			5	4	-1
悪影響			50	48	-2
影響なし			45	48	3
台風10号影響					
好影響			0		0
悪影響			28		-28
影響なし			72		-72
問48 相互関税					
好影響				0	0
悪影響				19	19
影響なし				81	81
問52 行政に支援して欲しいこと					
支援策の周知			32	44	12
事業者の声を聴く機会			32	27	-5
勉強会			32	22	-10
その他			4	7	3